

2024年度

# 事業報告書

自 2024年4月 1日  
至 2025年3月31日



## 目 次

第1	概要	1
第2	事業の状況	2
1.	「科学振興のための研究助成と研究交流」事業	2
2.	「国際相互理解促進のための図書寄贈と国際交流」事業	6
3.	「科学知識の普及・啓発」事業	11
第3	会議等	16
第4	その他の重要事項	20

### 【別表】

(1)	2024年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）	22
(2)	2024年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（実践研究）	34
(3)	2024年度海外発表促進助成助成対象者一覧表	35
(4)	2024年度笹川科学研究奨励賞受賞者一覧表	40
(5)	2024年度BOOK ENVOY PROJECT(中国)寄贈実績表	41
(6)	2024年度サイエンスメンタープログラム研究一覧表	42
(7)	役員名簿	43
(8)	評議員名簿	44

## 第1 概要

日本科学協会は、1924（大正13）年に、その前身である（財）科学知識普及会として設立され、本年度100周年を迎えた。一世紀にわたり「次代の科学を担う人材の育成」を主な使命として、活動を続けてきた。

近年においては、人々の生活様式や働き方が変化し、人と人との関わり方も大きく変化する中で、科学技術とイノベーションの一体的な推進が求められており、社会的課題の解決やその原動力として、研究投資や研究者の育成はもとより、広く一般市民の科学への関心向上が不可欠である。

また、グローバル化が加速し、国際的な相互理解の重要性が増す現代の中で、日本に関する知識の普及、日本と各国の人的な交流を通して、日本の価値観を各国へ共有していくことが、ますます重要になってきている。

2024年度事業実施にあたっては、「研究者等の育成」「国際相互理解」を推進するため、評議員、理事等の助言を受け、ポートルース公益資金による日本財団の助成金を受け、以下の目的達成に努めた。

1. 科学・技術に関する若手人材の育成、研究の全国的な掘り起こしを図るため、308件の科学研究助成を行った。2023年度から、研究助成金の総額と一人当たりの助成上限額を増額したところ、研究成果を論文に掲載したという報告件数が大幅に増加した。助成金の増額により研究の質が向上し、論文として公表できる成果に結びついたものと思われる。また、助成を受けた研究者の海外での研究成果発表を支援することで、学術成果の広範な浸透・普及を図った。
2. 中国、タイ、ウズベキスタン、ベトナムの各大学に合計約74,000冊寄贈することにより、中国を始めとしたアジア諸国等における日本文化への理解促進を図るとともに、中国で「日本知識大会」「日本研究論文コンクール」、さらに日中両国で「作文コンクール」等を開催することにより、日中間の相互理解の促進と友好意識の醸成に寄与した。
3. 経験豊かな専門家による中学生・高校生への研究指導（メンター）の実施により、科学・技術を担う人材の育成に努めるとともに、本会が独自に製作したWebコンテンツ（科学実験のデータベース、Web版科学体験まつり）や、様々な分野のセミナーを開催することで、科学への関心を高め、理解を深めることに努めた。

## 第2 事業の状況

### 1. 「科学振興のための研究助成と研究交流」事業

【事業経費：305,436,057円（間接経費を除く）】

本事業の1)～6)については、ポートレース公益資金による日本財団の助成金を受けて実施し、7)については、笹川科学活性化基金事業として実施した。

#### (1) 内 容

##### 1) 若手研究者の研究奨励（学術研究）

- ① 名 称：笹川科学研究助成
- ② 対象領域：人文・社会科学および自然科学（医学を除く）
- ③ 助成件数：298件 ※別途研究中止2件
- ④ 助成金額：258,665,093円（1件当たり平均金額868,004円）

〔別表（1）2024年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）〕

- ⑤ 申請資格：大学院生あるいは大学等の所属機関で非常勤・任期付き雇用研究者であって、35歳以下の者

※『海に関係する研究』は正規雇用者も含む

##### 2) 特定分野の研究奨励（実践研究）

- ① 名 称：笹川科学研究助成
- ② 対象領域：
  - a. 教員・NPO職員等が行う問題解決型研究  
学校、NPOなどに所属している方が、その活動において直面している社会的諸問題の解決に向けて行う実践的な研究
  - b. 学芸員・司書等が行う調査・研究  
学芸員・司書等が生涯学習施設の活性化に資する調査・研究

- ③ 助成件数：10件
- ④ 助成金額：3,194,370円（1件当たり平均金額319,437円）

〔別表（2）2024年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（実践研究）〕

- ⑤ 申請資格：専門的立場にある者（教員、学芸員、図書館司書、カウンセラー、指導員等）あるいは問題解決に取り組んでいる当事者など

今、挑戦したい研究がある！

他から助成が受けにくい大学院生、外国人留学生、女性研究者が行う研究の応募を歓迎します。

『海に関係する研究』は重点テーマとして支援します。

**学術研究部門** 最大150万円/1件

◆35歳以下の大学院生、雇用研究者（非常勤、任期付き）  
※『海に関係する研究』は、雇用形態を問いません。  
新規性、独創性または可能性があるが、他からの助成を受け難い研究を募集します。

**2024年度 笹川科学研究助成**  
締め切り：2023年10月16日

**実践研究部門** 最大50万円/1件

◆学校、NPO等に所属している方  
その活動において直面している社会的諸問題の解決に向けて行う実践的な研究を募集します。

◆学芸員・司書等  
博物館や図書館等の生涯学習施設の活性化に資する目的に特化し、研究を募集します。  
※実践研究部門は、年齢を問いません。

Webからの申請となります。詳しくは当会HPをご確認ください

公益財団法人 日本科学協会 笹川科学研究助成係  
URL: <https://www.jss.or.jp> E-mail: [josei@jss.or.jp](mailto:josei@jss.or.jp)

〒167-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団センター TEL 03-6229-1165 FAX 03-6229-1169

	対象領域	助成件数
学術研究	人文・社会系	32件
	数物・工学系	33件
	化学系	37件
	生物系	156件
	複合系	40件
実践研究	教員・NPO職員等	7件
	学芸員・司書等	3件
合 計		308件

### 3) 研究成果公表支援（海外発表助成）

#### ① 2024年度海外発表促進助成

- a. 申請資格：笹川科学研究助成を受けた者
- b. 助成件数：78件 ※別途辞退5件
- c. 助成金額：18,213,025円（1件当たり平均金額233,500円）

[別表(3) 2024年度海外発表促進助成助成対象者一覧表]

#### ② 2025年度海外発表促進助成の募集案内および第1期助成計画策定

### 4) 「笹川科学研究奨励賞」の選出及び授与

#### ① 「笹川科学研究奨励賞」の選出

2024年度笹川科学研究助成者の中から、笹川科学研究助成選考委員会で、16名（研究領域ごとに2名ずつ。ただし、生物系は4名）を選出した。選考に当たっては単に研究の内容や成果だけに捉われず、研究に対する取組み姿勢なども評価した。

[別表(4) 2024年度笹川科学研究奨励賞受賞者一覧表]

#### ② 「笹川科学研究奨励賞」の表彰及び研究発表

2023年度に選出された16名に対して、笹川科学研究奨励賞を授与し、賞状及び副賞（100,000円）を贈呈した。また、受賞者の研究発表動画を作成し、Webサイトで公開した。

## 5) 研究者交流会（研究奨励の会）の開催

2024年4月19日（金）にANAインターコンチネンタルホテル東京において「研究奨励の会」等を開催し、約300名が参加した。

### ① 「研究発表会」

笹川科学研究助成奨励賞受賞者による受賞記念発表会を開催した。

### ② 「研究奨励の会」

2024年度笹川科学研究助成の交付決定通知書を手交した。

### ③ 「研究者交流会」

若手研究者間の情報交換の会を開催した。



## 6) 研究助成の推進

### ① 2025年度笹川科学研究助成計画原案の作成

#### a. 募集計画策定等

「募集要項および選考方針」については、笹川科学研究助成事業委員会で、また、「選考基準および選考細則」については、笹川科学研究助成領域別選考委員会の議を得て策定した。各系の中から「海に関係する研究」を重点テーマとして拾い上げる事で、より広い意味での海洋関連科学への助成を行うことができた。

若手研究者の置かれている厳しい研究状況を分析し、一人当たりの助成上限額を増額することで、より自由な研究が行えるようになった。

#### b. 公募

大学、研究機関、学会、博物館、図書館等約2,100箇所、また過去に笹川科学研究助成を受けた者やその関係者約6,400名に募集のためのメール配信を行った。さらに募集ポスターを作成し、大学約800箇所に対して送付するなど、広く周知した。

a) 募集期間：2024年9月15日～2024年10月15日

b) 応募件数：1,417件の研究計画の申請を受付した。

（学術研究 1,358件、実践研究 59件）

#### c. 助成計画原案の作成

笹川科学研究助成領域別選考委員会での審査選考を経て、2025年度笹川科学研究助成計画原案を作成した。

### ② 2023年度笹川科学研究助成の研究報告書の整備

### ③ 研究助成実績資料の整備

## 7) 研究成果発表会の開催

過去助成者と企業の連携強化のために、継続的なフォローアップの充実を目指し、「海の産業利用」をテーマとした、研究成果の発表と質疑応答を行い、あわせてテーマに関する最新の取組についての基調講演を実施した。

- ① 開催時期：2024年11月1日（金）
- ② 開催場所：日本財団ビル2階 大会議室
- ③ テーマ：「ブルーエコノミーとその加速に向けて」
- ④ 発表者：過去研究者の中から関連研究をしている研究者3名
- ⑤ 参加者：海洋分野に関心をもった過去助成者および企業関係者(約50名)
- ⑥ 協力先：一般社団法人 海洋産業研究会

## (2) 事業成果等

2023年度から助成金1件あたりの上限金額を1,000千円から1,500千円に、助成金総額を200,400千円から268,900千円に増額したところ、当会への研究成果の学術論文への掲載報告が144件となり、過去3年の報告件数の平均44件を大きく上回った。助成金の増額により、研究の質を高め、研究の成果を論文として公表できる助成者の増加に寄与したものと考えられる。研究成果の発信がより活発になることにより、社会への貢献が一層深まることを期待している。

また、本助成では、前年度の助成者の中から研究内容や成果、研究への取り組み姿勢において高く評価された者が笹川科学研究奨励賞に選出され、毎年4月に笹川科学研究助成「研究発表会」および「研究奨励の会」で発表と表彰を行っている。これらの様子を撮影し2本の動画をHP上で公開することで、次年度申請を考える方にも本制度の目的やメッセージを広く伝える事ができ、好評を得ている。2023年度奨励賞受賞者による「研究発表会」の動画については、3,000回以上再生され、一般の方にも研究成果を広く伝えることができた。

海外発表促進助成では、新型コロナウイルスの収束に伴い、世界各国で研究集会等が活況を取り戻したことを背景に、申請数と1件あたりの申請金額が増加し、本助成のニーズの高さが改めてうかがえた。2024年度は、例年よりも助成件数を増やす等の対応を行った。なお、採択者はキャリアの浅い研究者や学生が多くを占めており、若手研究者が国際的な舞台で研究成果を発表することは、その後の研究キャリアの形成においても重要な意義を持っていると考えられる。

## 2. 「国際相互理解促進のための図書寄贈と国際交流」事業

【事業経費：79,602,329円（間接経費を除く）】

本事業の1)、2)①~③については、ポートルース公益資金による日本財団の助成金を受けて実施し、2)④については、笹川科学活性化基金事業として実施した。

### (1) 内 容

#### 1) BOOK ENVOY PROJECT

##### ① 図書の収集・寄贈

国際理解の深化と友好親善の増進に貢献することを目的に、日本国内において出版社、図書館、企業、大学、個人等への提供依頼を経て図書を収集し、寄贈先の教育・研究分野、地域性、蔵書内容等を考慮のうえ各大学等の要望に基づき寄贈図書を選定後、中国、タイ、ウズベキスタン、ベトナムの各大学に BOOK ENVOY PROJECT として寄贈した。

a. 図書収集：約 23,600 冊（提供件数：延べ 57 件）

b. 図書寄贈：合計 73,849 冊

a) 中国 72,883 冊

[別表(5) 2024年度 BOOK ENVOY PROJECT(中国)図書寄贈実績表]

b) アジア諸国等 966 冊

・タマサート大学（タイ）	106 冊
・世界経済外交大学（ウズベキスタン）	47 冊
・タシケント国立東洋学大学（ウズベキスタン）	667 冊
・ベトナム国家大学ハノイ校 人文社会科学大学（ベトナム）	146 冊

#### 2) 日中未来共創プロジェクト

##### ① 笹川杯全国大学日本知識大会

中国の大学の日本語学習者の日本理解の深化と日本語教育の振興を目的として、日本知識を日本語で競う全国レベルのクイズ大会を中国で開催するとともに成績優秀者等の日本招聘を実施した。

a. 開催日：2024年10月26日（予選）、27日（決勝戦）

b. 開催大学：浙江大学

c. 参加大学：99大学（選手各3名、3大学は選手1名のみ/合計291名）



※中国の全日本語設置大学の約 1/5 大学が参加。

- d. 結果：・団体戦 特等賞 1 大学、一等賞 2 大学、二等賞 8 大学  
・個人戦 特等賞 1 名、一等賞 5 名、二等賞 5 名

※下線を付した大学及び個人並びに開催大学は、日本招聘。

## ②作文コンクール

- a. 笹川杯本を味わい日本を知る作文コンクール（中国語版、日本語版）

中国の若者の日本に対する関心喚起と理解深化、日本に関する図書の読書促進を目的として、中国全国の大学生等を対象に、日本に関する図書の感想文コンクールを中日両語で開催するとともに、成績優秀者等の日本招聘を実施した。

- a) 中国語版

- 共催機関：上海交通大学図書館
- 対象：中国全国の大学生、大学院生、博士課程在籍者
- 応募総数：336 点（29 大学図書館）
- 審査結果：一等賞 5 点（日本招聘）、二等賞 10 点、  
最高組織賞 5 大学図書館（トップ大学図書館の 1 名は日本招聘）

- b) 日本語版

- 共催機関：中国外文局アジア太平洋広報センター
- 対象：16 歳～35 歳の中国人
- 応募総数：1,904 点
- 審査結果：一等賞 4 点（副賞：日本招聘）、二等賞 8 点、三等賞 30 点、  
優秀賞 40 点

- b. Panda 杯全日本青年作文コンクール

- a) コンクールの開催

日本の若者の対中関心の喚起と対中理解の促進を目的に、中国外文局アジア太平洋広報センター、中華人民共和国駐日本国大使館との三者共催により、“中国”をテーマに日本語で応募の作文コンクールを開催するとともに成績優秀者等の中国訪問を実施した。

- 共催機関：中国外文局アジア太平洋広報センター、  
中華人民共和国駐日本国大使館
- テーマ：「@Japan わたしと中国」
- 対象：16 歳～35 歳の日本人
- 応募総数：1,014 点
- 審査結果：優秀賞 10 点、入選 10 点、佳作 35 点  
※下線を付した受賞者は、中国訪問。



#### b) 中国訪問の実施

日中相互理解の深化と友好交流の促進を目的として、本コンクールの優秀賞者等に訪中の機会を提供し、現地の若者との交流、文化体験、実地見学等のプログラムを実施した。

- 実施時期：2024年9月21日～9月28日（8日間）
- 訪問先：北京、蘇州、成都
- 訪中者：優秀賞、入選受賞者、引率者等  
合計39名(2020年度 20名、2021年度 19名)

※2024年度の優勝賞、入賞受賞者は2025年度に訪中予定

#### ③中国の大学生等の日本招聘の実施

日中相互理解の深化と友好交流の促進を目的に、「日本知識大会」「本を味わい日本を知る作文コンクール」(中国語版、日本語版)の各成績優秀者等を対象に、Panda杯訪中団OBの参画を得て合同日本招聘を実施し、日中未来創発ワークショップ(主催：笹川平和財団)への参加など日本の若者との交流、文化体験、実地見学等の多様なプログラムを行った。

- 実施時期：2025年2月16日～2月23日（8日間）
- 訪問先：東京、沖縄、大阪、京都
- 招聘者：合計29名
  - 「日本知識大会」関係者18名
  - 「本を味わい日本を知る作文コンクール」関係者11名
    - ・中国語版6名
    - ・日本語版5名
- 同行者：Panda杯訪中団OB6名

#### ④笹川杯日本研究論文コンクール

中国の大学における日本研究の促進と日本語教育の振興を目的に、日本に関する研究論文コンクールを開催するとともに、コンクール成績優秀者の日本招聘を実施した。

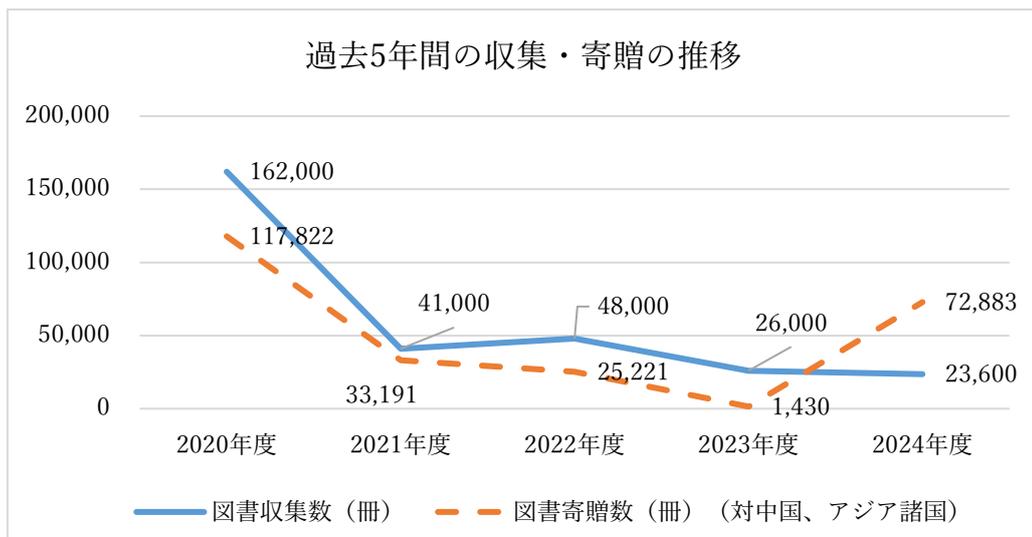
- 共催機関：中国日語教学研究会、吉林大学
- 対象：中国全国の大学の日本語専攻学部生
- 応募総数：201編
- 審査結果：特等賞3編（日本招聘）、一等賞3編、二等賞7編、三等賞16編
- 日本招聘者：3名 ※上記③の日本招聘と併せて実施。



## (2) 事業成果等

中国への図書寄贈では、中国側審査の厳格化により 2023 年度の寄贈実績はゼロだったが、本年度において審査申請手続きと輸出前整備作業の迅速化を図り、前年度に寄贈を見送った図書を含め約 73,000 冊を 2 年ぶりに寄贈したことは、日本理解と日中友好の深化に繋がったものと期待できる。さらに、中国の大学は、図書の受贈にあたって、中国国内経費（審査、通関、配送料等）として 7 元（約 154 円）/冊を負担しており、本年度の寄贈合計 72,883 冊には約 501,337 元（約 11,223,982 円）の中国国内経費が発生し、各大学は受領冊数に応じてこの経費を負担しているが、このことは寄贈図書に対する中国側の評価や需要の高さを裏付けるものと考えられる。

アジア諸国等への図書寄贈において 4 大学（3 ヶ国）の各要望に応じ合計 966 冊の図書を寄贈したことは、日本理解の深化、日本語教育環境の整備に繋がるものと期待できる。



※図書寄贈数：2021 年度以前の寄贈数は対中国のみ

日中交流活動では、事業開始 20 周年となる「日本知識大会」は、中国の全日本語学科設置大学（約 500 大学）の約 1/5 にあたる 99 大学が参加した中国の大学の日本語教育界屈指の日中交流イベントであるが、参加者にとって日本知識や日本語力を全国レベルで確認する機会のみならず日本語学習者相互の交流を深化する機会になったと期待できる。

また、中国では日中情勢の影響により日中交流活動へのモチベーションが低下している中、「笹川杯本を味わい日本を知る作文コンクール」（中国語版、日本語版）の開催により、広範な中国の若者に日本について考える機会を提供したことは、対日関心の喚

起と理解促進に繋がったと期待できる。

「Panda 杯全日本青年作文コンクール」は、事業開始 10 周年となるが、コンクール史上最多となる応募数を獲得したことは、本事業の順調な発展を裏付けるものであると同時に日本の広範な若者の対中関心喚起と理解促進に繋がっていると期待できる。さらに、中国の大学生等の日本招聘においては、Panda 杯訪中経験者から選定した有志学生 6 名の参画を得て多様な交流プログラムを実施したが、日中相互理解や友好交流の深化のみならず国際人材の育成に繋がったものと期待できる。

広報面では、人民網を通じて配信した「日本研究論文コンクール」決勝戦動画（プレゼンテーション、口頭試問等）は、再生数が合計約 109,601 回（日本語版 62,469 回、中国語版 47,132 回）に達するなど大きな反響を得ているが、本動画や優秀論文等の広範なアウトプットは、日本語学部の学生や教員にとって、論文執筆やプレゼンテーション、口頭試問を実践・指導する際の模範事例を提供するものであり、発展途上にある中国の日本研究論文教育の振興に寄与するものと期待できる。

外部支援獲得については、日本では講談社から CSR の一環として新刊図書 9,935 冊（定価総額約 9,976,180 円）の寄贈を得た他、中国では 1 企業から「本を味わい日本を知る作文コンクール」（中国語版）に 20,000 元（約 440,000 円）相当の協賛金を得るなど、各事業への理解と共感を獲得することができた。

### 3. 「科学知識の普及・啓発」事業

【事業経費：20,478,454円（間接経費を除く）】

本事業の1)～3)については、モーターボート競走法制定40周年記念事業として、4)については、主に笹川科学活性化基金事業として実施した。

#### (1) 内 容

##### 1) 中高生のためのサイエンスメンタープログラム

科学に高い関心を持つ中学生・高校生に対し、学校教育の枠にとらわれずに、専門研究者による科学研究の基礎指導を行った。

また、広く科学研究の基礎の定着を図るため、メンティと中学生・高校生の希望者を対象に、統計及び研究倫理の講習を実施した。

- ① 研究指導数：24研究（うち9研究は2025年度も指導を継続する。）
- ② 指導方法：メールを主とし、必要に応じてZoomや実地での対面指導を行った。
- ③ 期 間：2024年4月～2025年3月
- ④ サイエンスメンタープログラム研究発表会：
  - a. 第17回サイエンスメンタープログラム研究発表会
    - a) 開催日：2024年8月19日
    - b) 場 所：全国町村会館
    - c) 内 容：メンティによる10件の研究発表（口頭発表・ポスター発表）を行った。
  - b. 第18回サイエンスメンタープログラム研究発表会
    - a) 開催日：2025年3月23日
    - b) 場 所：全国町村会館
    - c) 内 容：メンティによる14件の研究発表（口頭発表・ポスター発表）を行った。
- ⑤ 統計講習
  - a. 名 称：科学研究体験ワークショップ
  - b. 開 催 日：①2024年8月4日、8月9日 ②2025年3月9日、3月22日
  - c. 開催形式：オンライン
  - d. 内 容：全国各地の参加者が、小型コンピュータ(Raspberry Pi)にセンサをつけて温度・湿度などを測定し、統計解析を実践した。
  - e. 参 加 者：①中高生32名 ②中高生40名
  - f. 講 師：陣内修氏（東京科学大学教授）

[別表(5) 2024年度サイエンスメンタープログラム研究一覧表]

## 2) 科学実験データベースなどの Web 公開

伝承的な実験から最近開発されたユニークな実験まで、様々な科学実験事例を収集網羅したデータベースを Web サイト上で広く公開した。

- ① 委託先：兵庫教育大学原体験教育研究会
- ② 公開内容：Web サイト上で、原体験コラム 356 点、科学実験データベース 791 点を公開している。今年度は新規データを原体験コラムに 5 点、科学実験データベースに 14 点を追加した。



## 3) 子供たちへの科学実験体験

### ① 「Web 版科学体験まつり」の実施

子供達や親世代への科学実験の機会を容易にするため、オンライン上に「Web 版科学体験まつり」を作成し広く公開を行った。

今年度は、映像の分かり易さを更に向上させるため、映像制作会社に動画の作成を委託した。テロップ等を効果的に使った動画となり、対面での指導と同じように分かり易い実験ブースを作成することができた。

- a. 内容：Web サイト上で、実験ブース 34 点を公開している。今年度は新規実験ブースを 4 点追加した。
- b. 委託先：兵庫教育大学原体験教育研究会
- c. 実験・演示：兵庫教育大学原体験教育研究会
- d. 撮影・編集：公益財団法人ニッポンドットコム

② 「科学実験」イベントの開催

科学実験を行う機会の少ない島の子ども達を対象とした科学実験教室「島で行うサイエンスキャンプ」を沖縄県の久米島と、兵庫県の淡路島で開催した。久米島では島内の全6年生を対象に、授業の一環として1~5時限までを全て使いイベントを行った。実験や観察するだけでなく、推論や仮説を立てて検証し、考察を行うという科学の考え方を子どもたちに伝え、学会さながらに発表まで行った。淡路島では、特産の玉ねぎを使った実験や、玉ねぎの研究を行っている方からの説明などを行い、身近なところにある不思議をテーマとすることで、子供たちがイベント後も科学への興味が持続するように工夫を行った。



a. 久米島での開催

- a) 講師：一般社団法人国際海洋資源エネルギー利活用推進コンソーシアム  
岡村 晝、  
株式会社ロート・F・沖縄 中原 剣、東村 俊輔、  
株式会社ジーオー・ファーム 大澤 克磨、小野寺 良太

- b) 開催日：2024年7月8日、9日の2回
- c) 場所：仲里小学校、清水小学校
- d) 参加者：各回小学6年生約30名

b. 淡路島での開催

- a) 講師：兵庫教育大学 原体験教育研究会  
泉 伸一、國眼厚志、福井広和
- b) 開催日：2024年8月24日
- c) 場所：南あわじ市市地区公民館
- d) 参加者：小中学生と保護者約30名

4) サイエンスコミュニケーション

科学に関する様々な分野の専門家の知識を一般に広めることを通じて、科学・技術への興味や関心を高める一助となることを目指し、様々なコミュニケーションの機会を設けて啓発活動を行った。

① データ集録ワークショップ「東京スカイツリーで気圧をはかろう」・データ解析実習

- a. 開催日：2024年8月30日、8月31日



- b. 場 所：東京スカイツリー、千葉工業大学東京スカイツリーキャンパス
- c. 参加者：中高生・大学生・教員 33名
- d. 内 容：東京スカイツリーのエレベーターを利用して、小型コンピュータ (Raspberry Pi)につけたセンサーで気圧を測定し、その値からエレベーターの上昇速度を計算するワークショップを実施した。また、ワークショップの参加者のうち希望者には、オンラインでデータの解析方法を実践的に学ぶ機会を提供した。
- e. 講 師：はしもとじょーじ (岡山大学環境生命自然科学学域教授)  
千秋 博紀 (千葉工業大学惑星探査研究センター主席研究員)

②サイエンスセミナー「生き物の運動方程式！？流れを読み解く数学の世界」

- a. 開 催 日：2024年11月4日
- b. 開催形式：オンライン
- c. 内 容：「生き物の運動方程式！？流れを読み解く数学の世界」というテーマで、最先端で活躍する研究者から、研究や研究生活の話聞くことができるオンラインのセミナーを実施した。
- d. 参 加 者：中高生・大学生・一般 127名
- e. 講 師：石本 健太 (京都大学数理解析研究所准教授)

(2) 事業成果等

「中高生のためのサイエンスメンタープログラム」では、資質の高い中学生・高校生が、大学教授などの専門研究者から、一定の期間中科学研究の進め方を学ぶことで、より一層研究に打ち込むようになる、もしくは、早い段階から将来の目標を明確にするなど、生徒には多大な影響を及ぼしている。過去のメンティの中には、推薦入試で研究能力を評価されて大学に進学する者もあり、学業の成績が優秀なだけではない質の高い人材の育成に寄与している。顕著な例では、2024年度のメンティが、ウマ介在活动中の研究を第68回日本学生科学賞に応募して高い評価を受け、アメリカで行われる国際学生科学技術フェア (Regeneron ISEF) の日本代表に選出された。また、メンティの他に、科学研究を行っている中学生・高校生を対象として、統計学の講習を実施し、科学研究の基礎的な素養を身に着ける機会を提供した。

「科学実験データベースなどのWeb公開」では、これまでのデータの蓄積により、実験教室での利用や実験内容についての質問、テレビで映像を利用したいといった問い合わせがあった。

「子供たちへの科学実験体験」における、「Web版科学体験まつり」の開催では、Webサイトに約12,000回のアクセスがあった。動画内に映像だけでなく、文字や図を重ねて表示し、原理の説明等も行うことで分かり易い映像を作成するなど、子ど

も達が興味を持って利用しやすくなるように工夫を行った。また、「島で行うサイエンスキャンプ」(以下、サイエンスキャンプ)は3回開催した。久米島では、授業の一環として島内の小学生全員が参加し、実験や観察を行うだけでなく、推論や仮説を立てて検証し、考察を行うという科学の考え方を子どもたちに伝え、学会さながらに発表まで行うことにより、科学の楽しさを伝えることができた。淡路島では、小中学生を対象に約30人の親子が参加し、特産の玉ねぎを使った実験や、地元で玉ねぎの研究を行っている方からの説明などを行った。身近なテーマとすることで、科学への興味を持続させることができたと感じた。参加者は様々な実験に熱心に取り組み、質疑応答では、子供たちから積極的に質問や意見が相次ぎ、科学への興味関心が高まったと感じた。盛況裡に終了し、科学新聞にイベント内容が掲載された。

「サイエンスコミュニケーション」では、主に中高生を対象として、小型コンピュータを使って気圧を測る「データ集録ワークショップ」や、生き物の運動を解析・予測する流体力学に関するオンラインセミナーを実施し、参加者の科学への関心をより深めることに寄与した。

なお、サイエンスキャンプ(淡路島)及びデータ集録ワークショップについては、独立行政法人国立青少年教育機構「子どもゆめ基金」の助成金で実施したものである。

### 第3 会議等

#### (1) 理事会

##### 1) 第36回理事会

① 開催年月日：2024年5月22日（オンラインにて開催）

② 議事事項と会議の結果：

- a. 第1号議案 2023年度事業報告書及び決算報告書の承認に関する件  
全会一致で可決
- b. 第2号議案 第14回評議員会の開催に関する件  
全会一致で可決
- c. 第3号議案 有価証券による基本財産および特定資産の管理に関する細則の一部改正に関する件  
全会一致で可決

##### 2) 第37回理事会

① 開催年月日：2024年6月12日（オンラインにて開催）

② 議事事項と会議の結果：

- a. 第1号議案 会長(代表理事)及び常務理事(業務執行理事)の選定に関する件  
全会一致で可決
- b. 第2号議案 会長(代表理事)及び常務理事(業務執行理事)の月額報酬額に関する件  
全会一致で可決

##### 3) 第38回理事会

① 開催年月日：2025年3月14日（オンラインにて開催）

② 議事事項と会議の結果：

- a. 第1号議案 2025年度事業計画及び収支予算の承認に関する件  
全会一致で可決
- b. 第2号議案 育児・介護休業等に関する規程の一部改正に関する件  
全会一致で可決

なお、役員の名簿については〔別表(6)役員名簿〕のとおり。

(2) 評議員会

1) 第14回評議員会

① 開催年月日：2024年6月11日（オンラインにて開催）

② 議事事項と会議の結果：

- a. 第1号議案 2023年度決算報告書の承認に関する件  
全会一致で承認
- b. 第2号議案 理事の選任に関する件  
全会一致で承認
- c. 第3号議案 監事の選任に関する件  
全会一致で承認
- d. 第4号議案 評議員の退職慰労金に関する件  
全会一致で承認

なお、評議員の名簿については〔別表（7）評議員名簿〕のとおり。

(3) 各種委員会

1) 評議員選定委員会

開催年月日	議事事項
(第4回) 2024年6月5日	評議員の選任について 次のとおり選任された。 重任：門野泉、西原祥子、前田晃、境浩光、 竹本和彦、中村和生、山崎壮 新任：室伏きみ子

※オンラインにて開催した。

2) 笹川科学研究助成事業委員会

開催年月日	議事事項
(第83回) 2024年7月16日	2025年度笹川科学研究助成募集要項等の策定について
(第84回) 2024年11月12日	2025年度笹川科学研究助成選考方針の策定について
(第85回) 2025年3月7日	1 2025年度笹川科学研究助成の選考結果について 2 2025年度海外発表促進助成の募集について

※いずれもオンラインにて開催した。

3) 笹川科学研究助成領域別選考委員会

領 域	開催年月日	議事事項
数物・工学系	2024年11月29日	2025年度笹川科学研究助成の選考細則の策定について（※オンラインにて開催した。）
化学系	2024年12月6日	
生物（A）系	2024年12月10日	
生物（B）系	2024年12月2日	
複合系	2024年11月21日	
海洋関連研究	2024年11月25日	
実践系	2024年12月3日	
人文・社会系	2025年1月23日	2025年度笹川科学研究助成の申請課題の選考について（※オンラインにて開催した。）
実践系	2025年1月31日	
人文・社会系	2025年3月12日	2024年度笹川科学研究助成に係る完了報告書の評価及び笹川科学研究奨励賞の選出について
数物・工学系	2025年3月10日	
化学系	2025年3月11日	
生物（A）系	2025年3月12日	
生物（B）系	2025年3月12日	
複合系	2025年3月17日	
海洋関連研究	2025年3月13日	
実践系	2025年3月10日	

4) サイエンスメンター事業委員会

開催年月日	議事事項
(第12回) 2024年12月9日	2025年度サイエンスメンタープログラムの募集及び選考について

## 第4 その他の重要事項

### (1) 内閣府

年月日	内 容
2024年6月27日	2023年度における事業報告書等の提出をした。
2024年7月9日	理事、評議員の改選に係る変更届出書を提出した。
2025年3月28日	2025年度における事業計画書等の提出をした。

### (2) 日本財団

年月日	内 容
2024年4月15日	2023年度事業の完了報告書を提出した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・科学振興のための研究助成と研究交流（公益）</li> <li>・科学振興のための研究助成と研究交流（海洋）</li> <li>・国際理解促進のための図書寄贈と国際交流（公益）</li> <li>・国際理解促進のための図書寄贈と国際交流（海洋）</li> <li>・基盤整備（公益）</li> <li>・基盤整備（海洋）</li> </ul>
2024年4月15日	2023年度笹川科学活性化基金に係る報告を行った。
2024年10月15日	2024年度事業の進行報告書を提出した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・科学振興のための研究助成と研究交流（公益）</li> <li>・科学振興のための研究助成と研究交流（海洋）</li> <li>・国際理解促進のための図書寄贈と国際交流（公益）</li> <li>・国際理解促進のための図書寄贈と国際交流（海洋）</li> <li>・基盤整備（公益）</li> <li>・基盤整備（海洋）</li> </ul>
2024年10月23日	2025年度事業実施のため、助成金交付申請を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・科学振興のための研究助成と研究交流（公益）</li> <li>・科学振興のための研究助成と研究交流（海洋）</li> <li>・日中未来共創プロジェクト（公益）</li> <li>・日中未来共創プロジェクト（海洋）</li> <li>・基盤整備（公益）</li> <li>・基盤整備（海洋）</li> </ul>
2025年1月27日	2023年度事業の監査を実施した。 （2025年2月27日 結果を受理）
2025年3月3日	2025年度助成事業の審査結果を受理した。

年月日	内 容
2025年3月27日	2025年度の笹川科学活性化基金の取崩に係る承認申請を行った。
2025年3月28日	2025年度事業の助成契約を締結した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・科学振興のための研究助成と研究交流（公益）</li> <li>・科学振興のための研究助成と研究交流（海洋）</li> <li>・日中未来共創プロジェクト（公益）</li> <li>・日中未来共創プロジェクト（海洋）</li> <li>・基盤整備（公益）</li> <li>・基盤整備（海洋）</li> </ul>

(3) その他

年月日	内 容
2024年9月18日	「令和6年度子どもゆめ基金」へ「島で行うサイエンスキャンプ」の助成活動実績報告書を提出した。
2024年9月27日	「令和6年度子どもゆめ基金」へ「データ収録ワークショップ」の助成活動実績報告書を提出した。
2024年10月10日	「令和6年度子どもゆめ基金」へ「島で行うサイエンスキャンプ」の助成金額の確定通知を受けた。
2024年11月19日	「令和7年子どもゆめ基金助成金」に、次のイベントの助成申請をした。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・データ収録ワークショップ</li> <li>・島で行うサイエンスキャンプ</li> </ul>

別表(1) 2024年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表(学術研究)

(単位:円)

No.	対象領域	助成者名	所属機関:名称	所属機関:職名	研究課題	確定助成金額
1	人文・社会	張 蕊	東北大学国際文化研究科	専門研究員	異種同根に着目した日中母体保護思想の統合的研究	300,000
2	人文・社会	吉田 ますみ	(公財)三井文庫社会経済史研究室	研究員	第一次世界大戦後の日本海運における企業と「国益」―「海洋国家」論を手がかりに―	500,000
3	人文・社会	古月 翔矢	京都大学大学院経済学研究所	博士後期課程 4年	イギリス海軍による艦船建造事業の民間委託と「外部委託国家」論の一考(1689年~1714年)	1,220,000
4	人文・社会	蘇 哲誠	同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科	博士後期課程 4年	19世紀前半期におけるアメリカ人宣教師と日本人漂流民送還の関係―「ABC FM 文書」に基づいて―	1,060,000
5	人文・社会	顧 嘉晨	東京大学大学院人文社会系研究科アジア文化研究専攻	博士後期課程 4年	明末清初に語られた宋の遺民-『宋遺民広録』を手がかりに-	940,000
6	人文・社会	倉野 靖之	中央大学大学院文学研究科東洋史学専攻	博士後期課程 2年	英国統治期のパレスチナにおけるアラブ人の政治活動と英国の治安維持―アラブ人暴動と警察再編に注目して―	750,000
7	人文・社会	大辻 航暉	日本大学大学院法学研究科公法学専攻	博士後期課程 2年	UNCLOS における安定性の位相―海面上昇をめぐる議論に着目して―	870,000
8	人文・社会	遠山 裕基	鳥取大学農学部生命環境農学科	講師	農家による種籾の取得手段が稲作の生産性に与える影響:メコン流域国における実証研究	441,751
9	人文・社会	徳田 恵	神戸大学大学院国際文化学研究科文化関連専攻	博士後期課程 2年	極北域出身の先住民のホームレス女性の都市移住の要因の解明―カナダ・エドモントンの事例を通して―	550,000
10	人文・社会	RAN NIANZHOU	一橋大学大学院言語社会研究科	博士課程 6年	1920、30年代における中国モダニズム文学の形成	950,000
11	人文・社会	澤田 聖也	東京藝術大学未来創造継承センター大学史料室	教育研究助手	トランスナショナルな音楽実践と四重意識の関係性―ハワイの沖繩系人を事例に―	616,058
12	人文・社会	陳 曉淇	関西大学大学院東アジア文化研究科文化交渉学専攻	博士後期課程 3年	東アジア翻訳史における魯迅:原文忠実思想の形成と共有の軌跡	789,526
13	人文・社会	山本 佳穂	東京藝術大学大学院音楽研究科音楽専攻音楽文化学研究領域	博士後期課程 2年	女性歌三線奏者と周辺の人々の関係性が及ぼす女性による歌三線演奏への影響	400,000
14	人文・社会	横山 雄大	東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻	博士課程 4年	戦後東アジア漁業秩序の形成と変容:日中台漁業交渉史(1950-80s)	1,330,000
15	人文・社会	成澤 みく	東北大学大学院環境科学研究科東北アジアセンター	博士後期課程 2年	気候変動対策における海藻養殖の役割に関する研究―パラオ共和国の事例から―	1,130,000
16	人文・社会	酒嶋 恭平	京都府立大学文学部歴史学科	共同研究員	前期ローマ帝国におけるペルシア人イメージに関する研究	650,000
17	人文・社会	吉田 彬人	京都大学大学院人間・環境学研究科人間・環境学専攻	博士後期課程 1年	近世初期藩領における産業の空間構造の解明―小倉藩・熊本藩を中心に―	950,000
18	人文・社会	田淵 舜也	慶應義塾大学大学院法学研究科	博士後期課程 4年	学問政治家としてのヴィルヘルム・ヴィンデルバントと南原繁―シュトラスブルク大学から新制東京大学へ	673,676
19	人文・社会	畔柳 理	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科アフリカ地域研究専攻	一貫制博士課程 4年	モザンビークにおける地場の製造業の生産能力の変容:生産システムに着目して	674,699
20	人文・社会	王 姝	早稲田大学大学院文学研究科	博士後期課程 6年	東魏北齊における菩薩像の研究―半跏思惟像の様式と信仰、伝播を中心に	800,000
21	人文・社会	高田 彩	國學院大学日本文化研究所	客員研究員	宗教集団の家族経営の解明―「宗教シャドウ・ワーク」に注目して―	471,028
22	人文・社会	湯谷 菜王子	立命館大学大学院社会学研究科応用社会学専攻	博士後期課程 2年	児童扶養手当制度の変遷における母子家庭の序列化と家族規範の構築	706,784
23	人文・社会	山本 敦	早稲田大学人間科学学術院	講師	非典型的的相互行為の分析のための方法論・認識論的な検討とその有効性の検証	273,524
24	人文・社会	田中 瑠莉	京都大学大学院人間・環境学研究科共生文明学専攻	博士後期課程 5年	開発による環境の改変と絶滅危惧種の保全に関する研究:対馬における道路建設とヤマネコとの共生を事例に	740,000
25	人文・社会	奥田 弦希	東京大学大学院人文社会系研究科	博士課程 3年	二重制期ハプスブルク帝国のムスリム及び対ムスリム政策:イスラームの法的公認過程を中心に	1,080,000

別表（1）2024年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）

（単位：円）

No.	対象領域	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	確定助成金額
26	人文・社会	竹田 響	京都大学大学院人間・環境学研究科共生文明学専攻文化人類学分野	博士後期課程 5年	東北アジアに広がる在日朝鮮人を基点とした親族関係に関する文化人類学的研究	900,000
27	人文・社会	Wolfs Benjamin	神戸大学大学院国際文化学研究科	博士後期課程 4年	日常生活における「価値」の再発見—龍野城下町のライフスタイル移住者に着目して—	300,000
28	人文・社会	田中 志歩	広島大学大学院国際協力研究科	博士後期課程 3年	バングラデシュのロヒンギャ難民ホストコミュニティにおける教育制度需要変容—山岳少数民族に着目して	550,000
29	人文・社会	櫻庭 陸央	帝京大学文化財研究所	助教	縄文時代における動物解体技術の研究	460,000
30	人文・社会	堀田 奈穂	関西学院大学大学院社会学研究科社会学専攻	博士後期課程 1年	沖縄の女たちと「美容室」—美と粧いをめぐるグローバルな実践	500,000
31	人文・社会	木村 美桜	奈良大学大学院文学研究科地理学専攻	修士課程 2年	近世都市の災害と地域性	330,000
32	人文・社会	中原 豪志	国立音楽大学大学院音楽研究科	博士後期課程 2年	アメリカ時代のセルゲイ・ラフマーニノフの音楽構想及び楽曲構成観—諸稿の比較研究を通して—	700,000
33	数物・工学	Potiszil Christian	岡山大学惑星物質研究所	助教	地球外アミノ酸の高感度エナンチオマー分析による生命起源物質の起源と進化に関する研究	1,500,000
34	数物・工学	富樫 磨由	東京農工大学大学院工学府化学物理学専攻	博士後期課程 1年	位相差 STEM を用いた高分子圧電体の構造と分極分布の可視化	970,000
35	数物・工学	趙 子豪	関西大学大学院理工学研究科総合理工学専攻	博士後期課程 2年	トビムシの構造を模倣したナノ構造の創製とSDGs達成に向けた新材料～生物付着防止を含んだ防汚性評価～	830,000
36	数物・工学	秋良 花綾	電気通信大学大学院情報理工学研究科情報・ネットワーク工学専攻	博士後期課程 3年	大脳皮質局所回路による知覚点火メカニズムのシミュレーション研究	840,000
37	数物・工学	高田 一輝	東北大学大学院工学研究科航空宇宙工学専攻	博士前期課程 2年	フローティングベースを有する小型双腕ロボットを用いた効率的な水中デブリ除去の実験的検証	875,781
38	数物・工学	野沢 公暉	筑波大学大学院数理物質科学研究群	博士後期課程 1年	高キャリア移動度材料の薄膜技術構築と超高速フレキシブル・トランジスタの創製	964,365
39	数物・工学	木山 景仁	埼玉大学学術院	准教授	加熱油中における水蒸気爆発プロセスの解明：エアロゾル発生を解決するスマートセンサの開発にむけて	1,050,000
40	数物・工学	越智 一成	高知大学大学院総合人間自然科学研究科応用自然科学専攻	博士後期課程 3年	超流動量子渦に閉じこめられた不純物粒子のポーロダイナミクス	300,000
41	数物・工学	寺島 伊吹	東京都立大学大学院理学研究科物理学専攻	博士後期課程 2年	クォーク自由度と結合したハドロン間の相互作用の解明：エキゾチックハドロンへの応用	520,000
42	数物・工学	沈 志明	長岡技術科学大学大学院技術科学イノベーション専攻	一貫制博士課程 5年	ナノ秒パルス電場を用いた複合材料内部構造の直交双方向配向手法の開発	530,000
43	数物・工学	小林 大輝	東京大学大学院理学系研究科附属地殻化学実験施設	博士課程 1年	水高压相における多角的構造解析法の確立：部分秩序相の平均および局所構造の解明	880,000
44	数物・工学	岩松 幸花	大阪大学大学院工学研究科地球総合工学専攻	特任助教	洋上ウインドファームにおけるサブステーション機能を有した超大型浮体構造物の弾性挙動	1,260,000
45	数物・工学	吉田 崇英	東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻	博士後期課程 1年	言語から運動へ：アンドロイド ALTER3 と大規模言語モデルを用いた意識へのアプローチ	1,050,000
46	数物・工学	田畑 研太	宇都宮大学工学部基盤工学科機械システム工学コース	助教	マンタの生体を模倣したバイオミメティックロボットによる海洋魚のモニタリングシステムに関する研究	850,000
47	数物・工学	中島 未椰	群馬大学大学院理工学府理工学専攻	博士後期課程 1年	自己教師あり学習に基づく超音波非破壊検査のための革新的欠陥検出法の開発	1,050,000
48	数物・工学	大里 健	千葉大学先進科学センター	助教	次世代宇宙広域探査に向けた多波長宇宙論的シミュレーション	900,000
49	数物・工学	呉 京宣	東北大学大学院医工学研究科医工学専攻	博士後期課程 1年	脳内におけるイオン恒常性モニタリングのための多機能かつ柔軟なロボティックプローブ	610,000

別表（１）２０２４年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）

（単位：円）

No.	対象領域	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	確定助成金額
50	数物・工学	八重樫 健吾	北海道大学大学院環境科学院 生物圏科学専攻	修士課程 2年	状態推定技術を用いた網漁具制御と流体力係数推定に関する研究－適応制御とサロゲート化で実装化を目指す－	1,180,000
51	数物・工学	閻 儲玥	京都大学大学院エネルギー科学研究科エネルギー社会・環境科学専攻	博士後期課程 2年	不確定性の配慮と伝統的住宅の景観保全視点から見た住宅部門カーボンニュートラルを実現する道筋	1,050,000
52	数物・工学	峰行 彩華	名古屋市立大学大学院芸術工学研究科芸術工学専攻	修士課程 2年	改良小径ドリル型削孔試験機、光学的計測法と不連続変形法による歴史的組積造建築物の耐震性能評価	710,145
53	数物・工学	荻野 光司	東京工業大学大学院環境・社会理工学院建築学系	博士後期課程 2年	オープンソース衛星データを用いた GIS データ整備モデルの構築と避難シミュレーションへの応用	660,000
54	数物・工学	董 書闖	東京海洋大学学術研究院海洋生物資源学部門	准教授	大規模な変形を伴う沖合浮沈養殖システムの応答予測と制御	1,240,000
55	数物・工学	柯 夢南	千葉大学工学研究院	助教	次世代集積 CFET に向けた 2次元物質素子技術基盤の構築	970,000
56	数物・工学	佐藤 壮紀	鹿児島大学大学院理工学研究科総合理工学専攻	博士後期課程 3年	Tsai 型 Ag-In-Yb 準結晶表面に吸着したベンタセンの反応性に関する第一原理計算を用いた検証	940,890
57	数物・工学	中村 悠斗	東北大学大学院工学研究科航空宇宙工学専攻	博士後期課程 1年	複雑流動における不安定現象に対するデータ駆動科学を援用した安定性解析手法の導出	1,050,000
58	数物・工学	大宮 悠希	名古屋大学大学院理学研究科	博士後期課程 2年	超精密 X線分光衛星 XRISM による衝突銀河団プラズマの攪拌と宇宙最大の粒子加速	860,000
59	数物・工学	土田 駿	新潟大学大学院自然科学研究科数理物質科学専攻	博士後期課程 2年	キャリアドープにより半金属化した励起子絶縁体の試料育成と物性測定	860,000
60	数物・工学	三國 文菜	宇都宮大学大学院地域創生科学研究科工農総合科学専攻	修士課程 1年	Euglena. Fusca の表皮帯構造を規範とした超汎用流体内推進機構の開発	1,260,000
61	数物・工学	福田 拓未	沖縄科学技術大学院大学フェムト秒分光ユニット	博士研究員	2次元層状半導体の光学フォノン振動とその高次周波数発生メカニズムの解明	960,000
62	数物・工学	渡慶次 孝気	東京大学宇宙線研究所	特任研究員	特異点解析と確率形式で解き明かす原始揺らぎの非摂動効果	960,000
63	数物・工学	Pranshu Bhatia	創価大学理工学部	ポストドクトラルフェロー	農業廃棄物残渣のバイオ炭を利用した嫌気消化・人工湿地での新規処理法の開発	970,000
64	数物・工学	太田 玖吾	富山大学大学院理工学教育部ナノ新機能物質科学専攻	博士課程 2年	新しいハニカム構造を持つ希土類金属錯化合物の新奇電流磁気効果の検証	617,015
65	数物・工学	規家 涼太	奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科先端科学技術専攻	博士後期課程 3年	レーザーを用いた多重選択型細胞分取システムの創成とその応用開拓	896,775
66	化学	黒田 悠介	京都大学大学院薬学研究科	特定助教	「プラスチック酵素」が実現するタンパク質の精密化学修飾	870,000
67	化学	平島 宗一郎	広島大学 統合生命科学研究科	研究員	水環境中における新規浸透性殺虫剤の光分解特性に関する研究	870,000
68	化学	西野 光太郎	筑波大学大学院理工情報生命学術院数理物質科学群	修士課程 2年	界面張力測定に基づく溶媒抽出機構の速度論的評価	580,000
69	化学	柚木 雅志	昭和薬科大学大学院薬学部薬学科	博士後期課程 3年	新機能的分子を指向したアズレンを有する新規芳香族アミドの創製と立体構造解析	640,000
70	化学	櫻田 直也	岐阜薬科大学大学院薬学研究科薬学専攻	博士課程 1年	マイクロ波が促進する連続フロー式分解反応の開発：プラスチックのケミカルリサイクル	800,000
71	化学	竹山 知志	山陽小野田市立山口東京理科大学工学部応用化学科	助教	四面体構造を有する第一遷移金属錯体の磁気的・分光学的性質の系統的理解への挑戦	750,000
72	化学	栗原 悠熙	慶應義塾大学大学院理工学研究科基礎理工学専攻	博士後期課程 3年	生合成中間体の高酸化度化によるマンザミン類の網羅的合成研究	810,000
73	化学	廣瀬 光了	成蹊大学理工学部	助教	光応答性阻害剤の開発から展開される糖タンパク質の変換経路の時間的制御	860,000
74	化学	譚 靈劍	東邦大学大学院薬学研究科医療薬学専攻	博士課程 3年	HIV 感染症治療薬を目指したジンチョウゲ科植物由来抗 HIV 活性ジテルペノイド誘導体の創製	580,000
75	化学	三浦 一輝	東京工業大学科学技術創成研究院化学生命科学研究科	助教	リガンド連結型光増感剤を用いたがん関連タンパク質光不活性化による分子標的型光線力学療法の創出	870,000

別表(1) 2024年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表(学術研究)

(単位:円)

No.	対象領域	助成者名	所属機関:名称	所属機関:職名	研究課題	確定助成金額
76	化学	WANG Yan	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科創薬科学専攻	博士後期課程2年	異なる輸送ルートで飛来するアジア大陸で発生した多環芳香族炭化水素類化合物の日本海沿岸都市への影響評価	1,320,000
77	化学	富家 唯深	近畿大学大学院総合理工学研究科理学専攻	修士課程2年	$\gamma$ -アミノ酸類をはじめとした長鎖アミノ酸類の網羅的合成法の開発	667,366
78	化学	鈴木 陽太	埼玉大学理工学研究科物質科学部門物質基礎領域	助教	超分子的多価ボロン酸に基づいた分子認識機構による新奇糖センシングアプローチ	1,500,000
79	化学	田中 泰地	埼玉大学大学院理工学研究科物質科学専攻	博士前期課程2年	ナフタレンの周縁部に非局在化する $\sigma$ ラジカルの合成と物性の解明	710,000
80	化学	深井 稜汰	宇宙航空研究開発機構太陽系科学研究系	特任助教	GED-ICP-MS/MSを用いたクラス1000クリーンルームの無機化学的環境モニタリング法の開発	870,000
81	化学	森竹 将之	京都大学大学院人間・環境学研究科関連環境学専攻	博士後期課程3年	フェニルアラニン誘導体が示す単結晶-単結晶脱溶媒転移の機構解明に関する研究	730,000
82	化学	樋野 優人	高知工科大学大学院工学研究科基盤工学専攻	博士後期課程1年	結晶構造相転移で実現するトランススケール有機結晶の創出	740,000
83	化学	佐々木 海斗	九州大学大学院工学府応用化学専攻	博士後期課程1年	両親媒性ビタミンB12触媒を利用したZスキーム型光反応系の構築と低活性塩素化合物の変換	830,000
84	化学	野田 直希	神戸大学大学院工学研究科応用化学専攻	修士課程2年	有機ナトリウムを利用したクロスカップリング重合によるポリフェニレン合成	810,000
85	化学	木ノ下 佑奈	東邦大学大学院理学研究科生物分子科学専攻	博士前期課程2年	タンパク質の高次構造予測を指向した蛍光タンパク質の高次構造を決定する要因の解明	680,000
86	化学	栗山 佑世	東北大学大学院薬学研究科	特任研究員	アミン求核剤による鎖状内部不活性アジリジンのLewis酸触媒的位置選択的開環反応の開発	750,000
87	化学	久保寺 裕進	広島大学大学院統合生命科学研究科統合生命科学専攻	博士後期課程1年	ケミカルガーデンにみられる2種金属塩共存効果の機構解明	800,000
88	化学	模素 希	麻布大学大学院獣医学研究科動物応用科学専攻	博士後期課程2年	新たな生理活性物質供給源の確立を目指した動物由来希少放線菌からの新規化合物の探索	680,000
89	化学	Kheamsiri Khemruthai	弘前大学大学院保健学研究科放射線技術科学領域	博士後期課程2年	土壌からコーヒーへの微量元素移行と飲用物中微量ミネラル量による健康影響評価	790,000
90	化学	林田 健志	筑波大学大学院数理物質科学研究群	博士後期課程2年	燃料電池カーボン触媒の電子スピン配置と触媒活性の相関究明による安価な材料設計指針の獲得	1,500,000
91	化学	仲村 光生	富山大学大学院理工学研究科生命・物質・エネルギー科学プログラム	博士後期課程1年	トランスサイレチンの液-液相分離過程およびアミロイド化パスウェイの解明	800,000
92	化学	遠藤 大史	鳥取大学大学院工学研究科	博士後期課程2年	社会実装を志向した電解還元条件でのグリコシルラジカルの発生とC-グリコシド合成への応用	740,000
93	化学	澤山 公貴	千葉工業大学大学院応用化学専攻	修士課程2年	高効率な二酸化炭素変換を目指した二点活性化型ヨウ素触媒の開発	870,000
94	化学	安田 貴信	東京工業大学科学技術創成研究院化学生命科学研究所	助教	抗体結合タンパク質の光クロスリンクによる全長抗体の蛍光・発光センサー化	810,000
95	化学	飯塚 夕夏	名古屋工業大学工学部生命・応用化学専攻	スタートアップ助教	ヘテロアレーンアミド基を活用した触媒創製による、四置換不斉炭素を有する非天然 $\alpha$ -アミノ酸構築	750,000
96	化学	川崎 みどり	同志社女子大学大学院薬学研究科医療薬学専攻	博士課程4年	キラル水酸化第四級アンモニウムによるラセミ体トロパ酸 $\beta$ -ラク톤の動的速度論的な不斉加水分解	790,000
97	化学	黄 世斌	岐阜薬科大学大学院	博士課程1年	過酸化脂質選択的に検出する近赤外蛍光プローブの開発	750,000
98	化学	加藤 光輝	東京農業大学大学院生命科学研究所分子生命化学専攻	博士後期課程1年	新規糖尿病治療薬創出を志向したマンガノイド類の骨格構築法開発	810,000
99	化学	若狭 優惟	立教大学大学院理学研究科化学専攻	博士後期課程1年	新規ケイ素芳香族化合物の創成と性質解明:高周期典型元素不飽和結合化合物の有機化学への展開	810,000
100	化学	東門 大輝	琉球大学大学院理工学研究科海洋環境学専攻	博士後期課程2年	不斉フッ素化炭素を有するスクレオシドの網羅的合成法の開発	810,000

別表(1) 2024年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表(学術研究)

(単位:円)

No.	対象領域	助成者名	所属機関:名称	所属機関:職名	研究課題	確定助成金額
101	化学	中間 貴寛	東京大学大学院工学系研究科 応用化学専攻	特任助教	膜タンパク質を担持する超分子ナノディスクの創製	750,000
102	化学	山下 勝史	岐阜大学大学院工学研究科工 学専攻	博士課程2 年	NHC 配位子-遷移金属錯体を活用した触媒的 光誘起カップリング反応の開発	620,000
103	生物	丸山 世倫	京都大学大学院農学研究科食 品生物科学専攻	博士後期 課程2年	中鎖脂肪酸トリグリセリドの摂取・代謝を脳に 伝える新規生理活性物質の作用機序の解明	1,040,000
104	生物	宇津 美秋	千葉大学大学院薬学研究院薬 効薬理学研究室	助教	間充織細胞の老化に伴うスフィンゴ脂質代謝 の変化、および微小血管内皮バリア機能に与え る影響	1,050,000
105	生物	股村 真也	三重大学大学院生物資源学研 究科資源循環学専攻	博士後期 課程2年	肉牛生産における穀物資源の有効利用を目指 す:機械学習と近赤外分光法による牛糞中栄養 素の迅速測定系開発	1,210,000
106	生物	矢野 温士	広島大学大学院統合生命科学 研究科生物資源科学プログラム	修士課程2 年	サンゴへの褐虫藻供給ソースとしてのシャコ ガイの重要性	1,283,117
107	生物	田中 海	東海大学大学院総合理工学研 究科総合理工学専攻	博士課程1 年	マナモコの夏眠および活動鈍化に関する生理 生態学的研究-消化管および触手の形態と消 化酵素活性を中心に-	500,000
108	生物	小俣 裕司	九州大学大学院薬学府創薬科 学専攻	博士後期 課程4年	環状RNAは新規の概日リズム制御因子になり 得るか?	970,000
109	生物	栗田 岳歩	名古屋大学大学院理学研究科 理学専攻生命理学領域	博士前期 課程2年	海洋由来黒色酵母における細胞分裂及び成長 様式の可塑性について	850,000
110	生物	二川 慶	東京大学大学院農学生命科学 研究科応用生命化学専攻	博士後期 課程1年	アコヤガイ貝殻に含まれるバイオミネラルタ ンパク質の立体構造・機能解析	1,190,000
111	生物	林田 幸久	九州工業大学大学院情報創成 工学専攻	博士後期 課程1年	巨大化細胞を用いた拡張計測によるシグナル 伝達機構の解明	900,000
112	生物	下仲 雄大	東京大学大学院農学生命科学 研究科水圏生物科学専攻	修士課程1 年	珪藻と窒素固定生物の共生が日本海の生物ポ ンプへ与える影響評価	1,340,000
113	生物	高橋 捷也	横浜市立大学大学院生命医科 学研究科生体膜ダイナミクス 研究室	博士後期 課程3年	クライオ電子顕微鏡を用いた立体構造解析に よるワニヘモグロビン特有のアロステリック 制御の解明	1,034,459
114	生物	谷川 慶一郎	東京大学大学院農学生命科学 研究科附属生態調和農学機構 生産生態学研究室	博士後期 課程2年	PGR5 過剰発現体を用いた、変動光に対する光 合成応答の解析と作物への環境ストレス耐性 の付与	590,000
115	生物	佐々木 映海	東京海洋大学大学院海洋科学 技術研究科食機能保全科学専 攻	博士前期 課程1年	微細藻類添加飼料のDHA補完機能と魚類の代 謝へ及ぼす影響	1,120,000
116	生物	上西 日向子	京都工芸繊維大学大学院応用 生物学専攻染色体工学研究室	修士課程1 年	ショウジョウバエ神経細胞における polyP と ハイブシン化 eIF5A による翻訳制御の生物学 的意義の解明	419,101
117	生物	名倉 のどか	北海道大学大学院水産科学院 海洋生物資源科学専攻	修士課程2 年	ネズミルカ <i>Phocoena phocoena</i> 北西太平洋 個体群の分類学的地位検討	1,200,000
118	生物	木村 ルカ 豊	琉球大学大学院理工学研究科 海洋自然科学専攻	修士課程2 年	沖縄島サンゴ礁域のサウンドスケープの解明 と安価受動的音響調査法の検討	830,000
119	生物	江藤 暁	東京海洋大学大学院海洋科学 技術研究科応用生命科学専攻	博士後期 課程1年	駿河湾深海底における魚類を中心とした生態 系の構造解明:種間関係を網羅する食物網の構 築	790,000
120	生物	堀井 幸子	水産研究・教育機構水産資源 研究所海洋環境部	研究員	海洋酸性化が鉄制限海域の一次生産に及ぼす 影響の解明-現場実験の多様な増殖応答に着 目して	960,000
121	生物	岩瀬 智春	東京農工大学大学院連合農学 研究科応用生命科学専攻	博士後期 課程1年	卵由来スフィンゴミエリンによる細胞種特異 的フェロトーシス誘導機構の解明	920,000
122	生物	山ノ井 俊宏	大阪大学大学院連合小児発達 学研究科 小児発達学専攻 分子生物遺伝学領域	博士後期 課程1年	社会性を支配する神経細胞の情報出力装置の 制御分子メカニズム	970,000
123	生物	薄井 くるみ	筑波大学大学院理工情報生命 学術院生命地球科学研究群	博士後期 課程1年	有用物質生産に向けた代謝インバランスの解 消とそのメカニズムの解明	580,000
124	生物	松田 佳祐	大阪大学大学院生命機能研究 科	ポストド クトラル フェロー	藻類の形態多様性が生じるメカニズムとその 意義	500,000

別表(1) 2024年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表(学術研究)

(単位:円)

No.	対象領域	助成者名	所属機関:名称	所属機関:職名	研究課題	確定助成金額
125	生物	LEE Ming-Liang	自然科学研究機構生命創成探究センター	特任助教	全身の体温調節における脳内グルコース感知神経細胞の役割の解明	1,050,000
126	生物	山田 麻祐子	名古屋大学大学院生命農学研究科応用生命科学専攻	修士課程1年	植物の概日時計におけるタンパク質リン酸化反応	1,050,000
127	生物	佐々木 拓	鹿児島大学大学院連合農学研究科農水圏資源環境科学専攻	博士後期課程1年	魚類仔魚の色覚と摂餌嗜好性に着目した新規魚類用ベビーフードの開発	960,000
128	生物	三浦 那々	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科海洋資源環境学専攻	修士課程1年	クラゲの外皮に備わった化学防御機構の行動学、生化学、毒性学の3つの視点からの検証	1,050,000
129	生物	縣 歩美	東海国立大学機構名古屋大学大学院生命農学研究科植物生産科学専攻	助教	野生イネが種内で示す穂形態多様性の遺伝学的解析	900,000
130	生物	小島 優音	筑波大学大学院理工情報生命学術院生命地球科学研究群	博士前期課程1年	蝶番細胞に着目した軟体動物における二枚の貝殻獲得機構の解明	970,000
131	生物	山崎 航輔	東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカル情報生命専攻	修士課程2年	標的分子分解における高時空間分解能マウスを使った病態メカニズムの解明	1,050,000
132	生物	横屋 稜	筑波大学大学院理工情報生命学術院生命地球学研究群	修士課程2年	受精イオン環境におけるマガキガイ異型精子の運動と細胞応答の解明	690,000
133	生物	富安 洵平	帯広畜産大学獣医学研究部門	助教	繁殖期におけるウミガメの栄養状態調査～飢餓状態の繁殖期をオスアオウミガメはどう乗り越えるのか?	1,120,000
134	生物	遠山 藍夏	総合研究大学院大学先端学術院先端学術専攻	博士後期課程2年	新規バイオセンサーの開発による上皮細胞増殖因子EGFの可視化	1,140,700
135	生物	吉川 咲帆	東海大学大学院工学院応用理化学専攻	修士課程1年	細胞内自由鉄(Fe <sup>2+</sup> )減少による造血幹細胞の代謝機構の変化とそれに伴う細胞運命決定への影響	810,000
136	生物	杉山 聖典	富山大学大学院医学薬学教育部薬科学専攻	博士後期課程3年	嗅覚と代謝の連携機構を活用した糖尿病と合併症の新規防止法の確立	970,000
137	生物	小川 萌日香	北海道大学大学院環境科学院	博士後期課程4年	グリーンランドの高次捕食者、アザランをモデルケースとしたPOPsの生物濃縮性評価に関する研究	1,230,000
138	生物	千田 哲朗	京都大学大学院農学研究科応用生物資源科学専攻	博士後期課程1年	形態の地理的変異はなぜ生じるか～日本列島の地史とカジカ類に着目して～	1,022,840
139	生物	中村 有孝	和歌山県立医科大学薬学部	助教	炎症性因子としてのAif1の分泌・放出機構の解明	820,000
140	生物	石岡 直幸	東京大学大学院農学生命科学研究科水圏生物科学専攻	修士課程1年	新規養殖用飼料としてのヨコエビ類の利用性に関する研究	560,000
141	生物	高橋 空良	奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科先端科学技術専攻	博士後期課程2年	ワイン酵母における潜在的なエタノール高生産メカニズムの解明とその生理学的意義	1,180,000
142	生物	中村 俊介	大阪公立大学大学院理学研究科生物学専攻	修士課程2年	海産カジカ科魚類のホヤやカイメンへの卵寄生による種間相互作用が生み出す産卵管長の種内変異	1,010,000
143	生物	千田 克幸	千葉大学大学院医学薬学府先端医学薬学専攻(薬学領域)	4年博士課程4年	尿中マイクロRNAと腎臓エピゲノム修飾の関連性解明; ネフローゼ症候群モデルマウスを使用した網羅解析	1,500,000
144	生物	眞田 崇弘	北海道大学大学院生命科学院生命科学専攻	博士後期課程1年	RNA結合タンパク質の複合体が脊椎動物の卵成熟を制御する仕組みの解明	970,000
145	生物	小林 格	神戸大学内海域環境教育研究センター	特命助教	非分散型ヒメヒトデ属の多様化プロセスの解明: ヒメヒトデは環状種か?	822,334
146	生物	中島 一豪	中央大学理工学研究所	客員研究員	島の樹上生態系における海洋資源の利用に樹木-着生植物-無脊椎動物間の促進カスケードが果たす役割	1,040,000
147	生物	塚田 秋葉	三重大学大学院生物資源学研究科生物圏生命科学専攻	博士前期課程2年	摂餌生態から鯨類の社会構造を探る 安定同位体比分析によるアプローチ	400,000
148	生物	若林 妙恵	帯広畜産大学大学院畜産科学専攻	博士後期課程2年	生殖隔離機構を引き起こす新規の原因遺伝子thb2の特定	630,000
149	生物	藤川 晃規	静岡大学大学院総合科学技術研究科理学専攻	修士課程2年	マナマコ横切断からの再生実験を用いた生殖巣の再生とトランスジェニック生殖細胞産生の試み	820,000

別表（1）2024年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）

（単位：円）

No.	対象領域	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	確定助成金額
150	生物	鈴木 将太	南三陸町自然環境活用センター	研究員	潮間帯上部で繁殖するテンジクダイ科魚類の稀種クダリボウズギスの生態及び分類に関する研究	1,260,000
151	生物	倉田 大地	近畿大学大学院農学研究科農業生産科学専攻	博士後期課程1年	花の模様形成を解明する鍵となる部位特異的なMYB転写因子の選択的スプライシング	786,927
152	生物	吉澤 聡一郎	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科海洋生命資源科学専攻	博士前期課程2年	軟骨魚類由来の自然抗体の応用に向けた基礎的研究	887,116
153	生物	佐藤 大介	東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所	博士課程2年	環形動物ミドリシリスの特殊な繁殖様式における二次尾部の形成機構	880,000
154	生物	伊藤 光輝	北里大学大学院海洋生命科学研究所海洋生命科学専攻	修士課程2年	マナマコ <i>Apostichopus japonicus</i> の discoidin 様タンパク質の機能解析	870,000
155	生物	近藤 恵都	岩手大学大学院連合農学研究科生物資源科学専攻	博士後期課程1年	有性生殖可能な3倍体プラナリアの雌性生殖細胞形成におけるユニークな染色体挙動の減数分裂機構の解明	950,000
156	生物	Godfrey Hunter	京都大学フィールド科学教育研究センター舞鶴水産実験所	博士課程1年	環境DNAおよび従来手法を用いた種特異的な魚礁の有効性評価	1,065,912
157	生物	古谷 優治	岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科	博士前期課程2年	ホスファチジン酸-Hippo 経路に着目した熱依存的な SAFB 顆粒形成に関与するシグナル伝達機構解明	970,000
158	生物	富永 賢人	東京大学大学院新領域創成科学研究科先端生命科学専攻	特任研究員	海洋細菌におけるタンパク質の相分離を介した環境適応機構の検証	878,985
159	生物	加藤 理子	長崎大学大学院総合生産科学研究科共生システム科学コース水産生物資源分野	博士前期課程1年	生物多様性の象徴“ウミウシ”の群集構造は20年、40年でどう変わったのか？	880,000
160	生物	黒澤 悠輝	愛媛大学大学院連合農学研究科生物環境保全学専攻	博士後期課程1年	海洋細菌による珪藻ウイルスの利用を検証する	1,020,000
161	生物	佐藤 丈生	北海道大学大学院生命科学院生命科学専攻	博士後期課程3年	RNA 結合タンパク質と機能性ゲノムに着目した精巢 lncRNA ネットワークの解明	630,000
162	生物	花崎 拓人	名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻	博士後期課程3年	持続的 Ia 線維活動抑制の Ia 線維興奮性入力と運動機能への影響について-新規痙縮治療法確立を目指して-	513,810
163	生物	川戸 翔太	近畿大学大学院総合理工学研究科理学専攻	博士後期課程1年	植物タイプと光合成細菌タイプをハイブリッド化した色素結合タンパク質の創製と機能解析	1,100,000
164	生物	栗根 大揮	昭和大学大学院薬学研究科薬理学分野	博士課程2年	真菌由来化合物を用いた糖尿病性腎症の治療戦略の構築-SMTP-44D の作用メカニズムの解明-	830,000
165	生物	田谷 昌仁	東北大学大学院生命科学研究科生態発生適応科学専攻	博士課程2年	採餌戦略の可塑性が多種共存を可能にする：干潟の鳥類を用いた検証	990,000
166	生物	谷口 絵乃	東京都立大学大学院理学研究科生命科学専攻	修士課程2年	鉄恒常性の維持への関与が見出された新奇機能未知タンパク質 DRAnaK の機能解析	890,000
167	生物	中村 柚月	量子科学技術研究開発機構放射線医学研究所放射線影響予防研究部	QST リサーチアシスタント	乳がんの遺伝的素因と放射線が関与する発がん機序の解明～リスクの低減に向けて～	820,000
168	生物	君島 愛美	日本大学大学院生物資源科学研究科生物資源利用科学専攻	博士後期課程3年	実験室進化モデルを用いたう蝕原性細菌のスクロースへの適応性評価	880,000
169	生物	晴木 啓二郎	長崎大学大学院総合生産科学研究科総合生産科学専攻	博士前期課程1年	マメダコ雄の交接腕防衛行動の検証 - 雄による交接腕防衛の秘策とは？ -	1,113,995
170	生物	EGOROVA DIANA	東京農工大学大学院連合農学研究科応用生命科学専攻	博士後期課程2年	老化により神経細胞周囲のマトリックスが蓄積する分子機構の解明	1,220,000
171	生物	山下 和可奈	国立感染症研究所治療薬ワクチン部門治療薬基盤開発室	修士課程2年	細菌を遺伝子レベルで制御する手法の開発	900,000
172	生物	川島 将人	川崎医療福祉大学医療技術学部健康体育学科	助教	マクロファージにおける温度受容と組織修復能との関係：温度刺激でマクロファージの機能を強化できるか？	880,000
173	生物	坂上 拓真	埼玉工業大学大学院工学研究科生命環境化学専攻	修士課程2年	二色咲エキナセア品種を用いた「時空間的な」遺伝子発現機構の解明	740,000
174	生物	安齋 沙矢乃	長崎大学大学院総合生産科学研究科共生システム科学コース水産生物資源分野	修士課程1年	オオグソクムシの代謝スケールアップ：深海生物の活動代謝余量に迫る	700,000

別表(1) 2024年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表(学術研究)

(単位:円)

No.	対象領域	助成者名	所属機関:名称	所属機関:職名	研究課題	確定助成金額
175	生物	佐藤 博文	日本医科大学医学部	助教	機械刺激受容体候補分子TMCのマクロファージにおける機能の解明	1,500,000
176	生物	大見川 遙	石巻専修大学大学院理工学研究科生命科学専攻	修士課程1年	海のダンゴムシはなぜ丸くなるのか?	870,000
177	生物	常川 光樹	九州大学大学院生物資源環境科学府生命機能科学専攻	修士課程1年	アカエイをモデルとした胎生軟骨魚類の母子免疫機構の解明	930,000
178	生物	荒川 奈那美	鹿児島大学大学院共同獣医学研究科獣医学専攻	博士課程3年	飼育下イルカのQOL向上に関する研究:「飼料・病態・環境」の評価基準確立と標準化	1,260,000
179	生物	長尾 百華	茨城大学大学院理工学研究科理学専攻	修士課程2年	動原体複合体の局在と構成因子の多様化の実体解明に向けたカメムシの機能解析系の構築	1,050,000
180	生物	閏間 花梨	京都大学大学院情報学研究科社会情報学専攻	博士後期課程1年	マングローブ林の持続的な資源利用のあり方-ムンバイの開発による生態系攪乱に伴う資源利用の変化-	820,000
181	生物	坂井 志穂	お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科ライフサイエンス専攻	博士前期課程2年	迷走神経の神経伝達脆弱性を介して肝炎が脳内炎症を増強させるメカニズムの解明	720,000
182	生物	田中 絢音	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科海洋資源環境学専攻	修士課程2年	海洋に分布する Synechococcus 属群集は変化する光環境にどのように適応するのか	1,109,020
183	生物	南方 宏太	慶應義塾大学大学院理工学研究科基礎理工学専攻生命システム情報専修	博士後期課程2年	イトマキヒトデ成体の開放循環系における、細胞性免疫応答の進行に伴う細胞外小胞の質的变化の解析	929,697
184	生物	川崎 由乃	神奈川大学大学院理学研究科理学専攻	博士前期課程2年	ロングリードNGSを活用した海水内微小環境に対する海水藻類の応答機構の解析	91,124
185	生物	増田 夢佳	京都大学大学院生命科学研究科統合生命科学専攻	博士後期課程1年	緑藻クラミドモナスのピレノイドをモデルとした相分離オルガネラ形成異常株の単離と解析	764,533
186	生物	元木 航	岡岡大学学術研究院環境生命自然科学学域	助教	キャベツ茎頂のフロリゲンへの応答性差異を生み出す遺伝子の同定	1,160,000
187	生物	栗田 紘生	富山大学大学院理工学研究科理工学専攻地球生命環境科学プログラム	修士課程2年	植物細胞の細胞分裂面を決定する分裂準備帯の形成機構におけるKCHキネシンの役割の解明	890,000
188	生物	矢野 幹季	福井県立大学大学院生物資源学研究科海洋生物資源学専攻	博士前期課程2年	魚類刺毒様タンパク質に着目したウナギ目魚類由来新奇血清毒の同定	890,000
189	生物	太田 隼人	創価大学理工学部	助教	コンドロイチン硫酸Eを介した前立腺がんの去勢抵抗性獲得機構の解明	890,000
190	生物	武田 遥奈	東北大学大学院医学系研究科医科学専攻	博士課程4年	メディエーター複合体の動的リモデリングが駆動する核内レドックス感知機構の解明	229,648
191	生物	杉田 陽美季	麻布大学大学院獣医学研究科動物応用科学専攻	博士前期課程2年	哺乳類の受精時に認められるCa <sup>2+</sup> オシレーションの生物学的意義の解明	820,000
192	生物	市沢 翔太	岩手大学大学院連合農学研究科生物資源科学専攻	博士後期課程1年	なぜ健康なネコの腎臓に脂肪滴が大量蓄積しているのか、ネコ特異的な脂質代謝機構の解明	890,000
193	生物	李 峻浩	沖縄科学技術大学院大学	博士後期課程2年	中心体増幅の監視機構とその異常に伴う細胞がん化の解明	1,220,000
194	生物	Stock Maya	東京大学大学院大気海洋研究所新領域創成科学研究科自然環境学専攻	修士課程2年	瀬戸内海におけるホシエイの海面への垂直移動と水温に関係する季節移動	970,000
195	生物	末松 知宙	東京大学大学院農学生命科学研究科水圏生物科学専攻	修士課程2年	温帯と亜熱帯を縦断する沿岸性魚類のゲノム系統地理: ミミズハゼをモデルとして	1,300,000
196	生物	山崎 祐人	北海道大学大学院水産科学院海洋生物資源科学専攻	修士課程2年	PIT タグを用いたサクラマス養殖用種苗生産における分養タイミングの推定	1,190,000
197	生物	武馬 聖二	東京大学大学院農学生命科学研究科水圏生物科学専攻	修士課程1年	鰹節カビ内在ウイルスが鰹節発酵に与える影響の解明	1,050,000
198	生物	廣田 主樹	東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻	博士後期課程2年	貝殻バイオミネラリゼーションの解明: 鈹物化組織(甲)と非鈹物化組織(軟甲)の基質タンパク質の比較研究	1,320,000
199	生物	福塚 理佐子	高知大学大学院総合人間自然科学研究科理工学専攻	修士課程2年	砂浜に生息するスナガニ類の分布生態に与える人為的影響について	580,000
200	生物	藤原 早紀	岐阜大学大学院自然科学技術研究科生物生産環境科学専攻	修士課程2年	コリン作動性神経の時計機能による新規体温リズム調節のターゲット因子探索	850,000

別表(1) 2024年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表(学術研究)

(単位:円)

No.	対象領域	助成者名	所属機関:名称	所属機関:職名	研究課題	確定助成金額
201	生物	児玉 円	お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科ライフサイエンス専攻	博士前期課程1年	海流が海浜植物集団の形成・維持に与える影響の解明:42年前に侵入した外来種オニハマダイコンを用いて	570,000
202	生物	宇佐美 優奈	埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科	博士後期課程2年	転写因子の時限的プロテインノックダウンにより解明する腱発達のメカノバイオロジー機構	820,000
203	生物	簾 祥太	静岡県立大学大学院薬食生命科学総合学府薬科学専攻	博士前期課程2年	シアリダーゼアインゾイム NEU2 の機能解明を基盤とした新規パーキンソン病治療薬の開発	820,000
204	生物	梅林 奎輔	東京農工大学大学院農学府農学専攻自然環境資源コース	修士課程2年	アオウミガメの食害および陸上土壌の負荷に対する海草の生理学的応答	649,099
205	生物	岡本 侑樹	富山県立大学大学院総合工学専攻生物・医薬品工学部門	博士後期課程1年	FRET現象を活用した活性型ビタミンD3可視化技術の開発および作用機序解明の革新的研究	1,100,000
206	生物	藤野 郁	山口大学大学院共同獣医学研究科	博士課程1年/特命助教	ほ乳類初期胚の発生が倍数化によって阻害される分子メカニズムの解明	1,400,000
207	生物	長田 莉奈	北里大学大学院医療系研究科医科学専攻	修士課程2年	細胞間接着関連分子 $\alpha$ N-Cateninの機能と作用機構の解明	450,000
208	生物	津島 綾子	大阪公立大学大学院農学研究科応用生物科学専攻	助教	植物病原真菌の出現と同じ進化軌道を示す機能未知遺伝子の役割	750,000
209	生物	Anamika Datta	九州大学大学院システム生命科学府幹細胞生物学分野	一貫制博士課程5年	リボソーム内における細胞多能性獲得を担うドメインの同定	1,140,000
210	生物	藤原 弘貴	北里大学大学院海洋生命科学研究所魚類生態学研究室	博士課程2年	ウキゴリ属 Gymnogobius 3種の分散と両側回遊の適応的意義の解明	500,000
211	生物	柳 拓明	京都大学大学院理学研究科生物科学専攻動物	博士後期課程2年	ミミズ専食ヘビの素早い捕食行動の機能とメカニズムの解明	1,130,000
212	生物	長澤 竜樹	東京工業大学生命理工学院	助教	進化的に高度に保存された魚類 V1R 陽性細胞における分子基盤構築と哺乳類との比較研究	910,000
213	生物	遠藤 友彦	国立環境研究所生物多様性領域	特別研究員	野生哺乳類による水域利用が希少種の保全に与える影響についての検討	1,095,890
214	生物	菊池 隼人	琉球大学理学部	博士研究員	植生に着目した希少種ケナガネズミの行動圏および利用環境の解明	880,000
215	生物	近藤 悠	千葉大学大学院園芸学研究院附属宇宙園芸研究センター	特任助教	生殖過程における重力反応の実証-宇宙環境における種子・果実生産に向けて	1,060,000
216	生物	中嶋 聖朗	京都大学大学院応用生物科学専攻	博士後期課程1年	シロアリの埋葬行動による巣材共生放線菌への影響および巣の耐病機構の解明	460,000
217	生物	和田 智竹	東邦大学理学部生物学科植物生態学研究室	特任研究員	日本国内のヒルガタワムシ類の網羅的な分類学的研究-日本のヒルガタワムシ研究の基盤構築を目指して-	1,060,000
218	生物	池田 颯希	京都大学大学院理学研究科生物科学専攻	修士課程2年	コケ食ダニの多様な口器形態はいかにして生じたか:寄主の形態との相関を探る	640,000
219	生物	荒谷 遥香	東京大学大学院農学生命科学研究科農学国際専攻	博士後期課程3年	酸性硫酸塩土壌で発生する鉄過剰障害に対する圃場条件での耐性メカニズムの解明	910,000
220	生物	近藤 湧生	大阪公立大学理学研究科生物学専攻	特任研究員	野生メダカの繁殖生態の解明:野外調査とDNA解析から解き明かす実験室外でのモデル生物の生活	1,500,000
221	生物	小林 幸平	新潟大学大学院自然科学研究科環境科学専攻	博士前期課程2年	都市環境における生物間相互作用や人為的影響がヘビ類の生態や形態変異に及ぼす要因	530,000
222	生物	井上 修吾	九州大学大学院生物資源環境科学府資源生物科学専攻	修士課程1年	キクイゾウムシ亜科(コウチュウ目ゾウムシ科)における穿孔型産卵習性の進化プロセス解明	830,000
223	生物	石井 康人	東北大学大学院生命科学研究所	修士課程1年	陸産貝類は海流分散が可能なのか?そのメカニズムはなにか?:実験的検証	760,000
224	生物	朝田 愛理	神戸大学大学院人間発達環境学研究科人間環境学専攻	修士課程2年	火入れ草原において絶滅危惧植物種が維持される環境の解明:土壌物理化学特性に着目して	970,000
225	生物	渡邊 彩音	名古屋大学大学院生命農学研究科森林・環境資源科学専攻	博士後期課程1年	動物種ごとの量的・質的な種子散布機能の違いがヤマモモの実生更新に与える影響	820,000

別表(1) 2024年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表(学術研究)

(単位:円)

No.	対象領域	助成者名	所属機関:名称	所属機関:職名	研究課題	確定助成金額
226	生物	山澤 泰	富山大学大学院理工学研究科地球生命環境科学プログラム	修士課程1年	モグラ科動物のトンネルを利用する動物の生態把握に向けたトンネルカメラトラップ法の開発	790,000
227	生物	清家 瞳	東京大学大学院新領域創成科学研究科先端生命科学専攻	特任研究員	昆虫の密度依存的な形態・行動変化の制御メカニズムを用いた生き物の「群れ」の理解	762,335
228	生物	沼尾 海斗	北里大学大学院海洋生命科学研究所海洋生命科学専攻	修士課程2年	なぜ老いには個体差が生じるのか?:老化期間を決定する分子機構の解明	454,971
229	生物	椿山 海應	東邦大学大学院理学研究科生物学専攻	修士課程2年	生物群集の温度反応モニタリングにおけるサウンドスケープの有効性評価	1,030,000
230	生物	仲井 大智	早稲田大学理工学総合研究所	招聘研究員	掘削運動における椎骨の適応形態の探索と異節類における形態進化機構の解明	410,000
231	生物	友井 拓実	東京理科大学創域理工学部生命生物科学科	助教	タバコ異科接木と赤外光による農作物の自在な開花制御系の確立	1,130,000
232	生物	福田 真平	東邦大学理学部生物学科	訪問研究員	甲虫における構造色の適応的意義:発色特性に着目した隠蔽効果と配偶者選択の検証	296,435
233	生物	勝俣 沙智	岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域	特任助教	動物型ロボットは動物の孤独ストレスを軽減しうるか:ロボットとのフレンドシップの構築	1,120,000
234	生物	石井 直浩	鳥取大学乾燥地研究センター	特命助教	モンゴル草原におけるネギ属植物の近縁種間・種内の倍数性変異と菌根菌群集の関係	1,040,000
235	生物	原田 菜里	東京都市大学大学院総合理工学研究科自然科学専攻	博士前期課程2年	土壌環境が菌類の形態に影響を及ぼすのか?野外操作実験によるアンモニア菌の解析	130,000
236	生物	鬼崎 華	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻	博士後期課程2年	日本列島における草食哺乳類の古生態と絶滅要因の解明に向けた食性推定法の確立	830,000
237	生物	VELEZ ESPERILLA FERNANDO ANTONIO	京都大学大学院理学研究科生物学専攻	博士後期課程2年	第四紀の海水面変動が東南アジアのフヨウ属オオハマボウ節植物の種分化に与えた影響	930,000
238	生物	原田 理帆	筑波大学大学院理工情報生命学術院生命地球科学研究群	博士前期課程1年	円口類ヌタウナギと羊膜類の大脳皮質の相同性の検討-脊椎動物の大脳皮質の進化的起源の解明を目指して-	1,000,000
239	生物	加賀 芳恵	(NPO)小笠原自然文化研究所	研究員	世界自然遺産登録地におけるヒメカタゾウムシ類の絶滅回避に向けた保全生態学的研究	790,000
240	生物	西村 和紗	岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域	助教	高速遺伝子型決定技術とレガシーデータの活用による野生コムギの地域適応機構の遺伝学的解明	590,000
241	生物	神田 旭	山口大学大学院創成科学研究科ライフサイエンス系専攻	博士後期課程2年	カブトムシの武器に形態的多様性をもたらす進化メカニズムの解明	1,020,000
242	生物	朝比奈 美緒	静岡大学大学院総合科学技術研究科農学専攻	修士課程2年	細胞壁成分特性から植物のAI集積レベルを規定する要因を探る	750,000
243	生物	井上 慎太郎	徳島大学バイオイノベーション研究所先端医療技術開発部門 医療技術研究分野	特任助教	飛ぶための遺伝子による翅模様形成の遺伝的メカニズムの解明	900,000
244	生物	庄司 森	岩手大学大学院連合農学研究科地域環境創生学	博士後期課程1年	雪による細根の冷却は積雪林の樹木開葉時期の決定に関与するか:冬芽の吸水性と細根の通水性に着目して	1,120,000
245	生物	Chia-Tang Ho	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科獣医学専攻	博士課程4年	ウシ卵子の成熟培養中に形成される顆粒層細胞領域内クラスターの生理学的意義の解明	970,000
246	生物	林 舜	広島大学両生類研究センター	研究員	カジカガエル地域個体群をモデルとした性染色体の退化機構の解明	910,000
247	生物	阿部 悠	北海道大学大学院農学院農学専攻	博士後期課程3年	マウスの体温感覚を指標とした食肉中の「体を温める」・「体を冷やす」成分の特定とその作用機序の解明	940,000
248	生物	相知 紀史	九州大学大学院地球社会統合科学府地球社会統合科学専攻	修士課程2年	ヤミサラグモ属でみられる「はさみこみ型」交接という特異な生殖隔離機構の解明	950,000
249	生物	瀬島 勇飛	東京都立大学大学院理学研究科生命科学専攻	博士後期課程1年	土壌環境において定説に反する不利な体形進化“太形化”の適応的意義	970,080
250	生物	細井 彩	信州大学大学院総合理工学研究科理学専攻	修士課程2年	解剖学的手法を駆使した樹木細根の寿命の決定:短命あるいは長寿の細根はどのような内部構造なのか?	1,040,000
251	生物	小田 晴翔	石巻専修大学大学院理工学研究科生命科学専攻	修士課程1年	すね毛×脚タップ=クロベンケイガニ:形態から考える社会行動の進化	660,000

別表（1）2024年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）

（単位：円）

No.	対象領域	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	確定助成金額
252	生物	砂川 勇太	東京大学大学院理学系研究科生物学専攻	修士課程2年	日本産ラン科植物の送粉様式の多様性と進化	640,000
253	生物	土居 健央	京都大学大学院理学研究科生物学専攻	修士課程2年	植物の匂い物質の多様性と気温の関係	1,074,416
254	生物	朝倉 日向子	京都大学大学院理学研究科生物学専攻	修士課程2年	寄生生物による行動操作の月齢依存性：ハリガネムシは満月の夜に宿主を入水させる？	980,000
255	生物	増田 理子	京都大学大学院理学研究科生物学専攻	修士課程2年	植物における核型進化と種分化の関係	640,000
256	生物	池田 小春	岩手大学大学院総合科学研究科地域創生専攻高度農林業プログラム	修士課程2年	ツキノワグマの人里出沒は親から子へ継承されるのか？非侵襲的サンプルからの遺伝子解析	830,000
257	生物	横山 晟和	北里大学大学院海洋生命科学研究所海洋生命科学専攻	修士課程2年	タナゴ亜科魚類の繁殖季節分化における生理・生態学的研究	350,000
258	生物	水野 郁美	昭和薬科大学薬物治療学研究室	特任助教	異なる意識レベルでの記憶研究	1,019,080
259	複合	福島 拓	愛知医科大学大学院医学研究科基礎医学系生理学専攻	博士後期課程2年	運動による長期的な転写制御機構の解明：エピゲノム修飾酵素 PHF2 に着目して	850,000
260	複合	光斎 翔貴	立命館大学立命館グローバル・イノベーション研究機構	准教授	未利用植食性魚類の漁獲による天然藻場回復のブルーカーボン効果分析：LCAの観点から	1,120,000
261	複合	伊東 優希	立正大学大学院地球環境科学研究科環境システム学専攻	博士後期課程2年	都市地下水から海洋へのマイクロプラスチックの流出負荷について -東京湾岸低地における実証研究-	1,083,333
262	複合	小手川 福笑	北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科先端科学技術専攻	博士後期課程3年	アップコンバージョンナノUV光源の創製とin vivo 光化学反応への応用	850,000
263	複合	伊藤 貴仁	横浜市立大学大学院生命医科学専攻	博士後期課程3年	GalNAc 搭載ペプチドの肝臓選択的核酸のデリバリーへの応用	900,000
264	複合	佐々木 勇人	大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻	博士後期課程1年	断層の摩擦-流動遷移機構の解明：粒子分散系のジャミング転移を応用した実験的研究	900,000
265	複合	高山 卓大	立命館大学薬学部薬学科臨床分析化学研究室	助教	富山湾海洋深層水中 D-アミノ酸の包括的分析と線虫に及ぼす寿命延長効果の検証	1,260,000
266	複合	豊原 涼太	北海道大学工学研究院	特任助教	ヒト骨盤内の仙腸関節における表面形状と関節運動をつなぐ新しい学理構築	900,000
267	複合	黒山 喬允	防衛大学校理工学群地球海洋学科	講師	音響キャビテーションノイズを用いる広帯域エコーサウンダの開発	1,340,000
268	複合	高井 優生	九州大学大学院農学研究院	助教	フタル酸エステル類に着目したマイクロプラスチック汚染の評価～フナムシの糞で環境モニタリング？～	1,094,637
269	複合	松山 和樹	名古屋大学大学院環境学研究科地球環境科学専攻	博士後期課程1年	かんらん岩から紐解く海洋リソフェアマントルの進化過程	1,120,000
270	複合	佐藤 結佳子	東京農業大学大学院地域環境科学研究科地域創成科学専攻	博士前期課程1年	ウォーターフロントにおけるナイトタイムコンテンツ活用したアーバンツーリズムの創出	466,955
271	複合	橋本 講司	東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻	助教	人工非コードDNAで細胞を制御する	900,000
272	複合	Trihatmoko Kharisrama	長岡技術科学大学技術科学イノベーション専攻	一貫制博士課程4年	東南アジア水環境汚染大きな原因であるタピオカ廃水を対象とした高度な嫌気性処理システムの開発	900,000
273	複合	守屋 正道	東京都健康長寿医療センター研究所老化脳神経科学研究チーム自律神経機能研究	非常勤研究員	前脳基底部機能不全の関与と脳内炎症ネットワークに基づくICU認知機能障害の解明	800,000
274	複合	林 利有樹	筑波大学大学院理工情報生命学術院生命地球科学研究群	修士課程2年	水圏に生息する糸状藻類の繊維を用いた環境負荷の低い製紙技術と機能紙の開発	898,035
275	複合	木村 玲雄	長岡技術科学大学大学院先端工学専攻エネルギー工学分野	博士後期課程1年	骨欠損部の補填と治療を両立する微量塩素ドーパ非晶質シリカ粒子表面の創製	850,000
276	複合	福田 翔一郎	徳島大学大学院医歯薬学研究部薬物動態制御学分野	博士課程3年	イオン液体を新規吸収促進剤として利用した難吸収性化合物の腸管吸収促進技術の開発	850,000
277	複合	後藤 聡汰	神戸常盤大学保健科学部診療放射線学科	助教	医療被曝に対する国民の自衛意識向上を目指したX線CT検査の被ばく線量実測法の開発	850,000
278	複合	埴川 岳大	信州大学大学院総合理工学研究科理学専攻	修士課程2年	諏訪湖におけるマイクロプラスチック発生源の解明	900,000

別表（1）2024年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）

（単位：円）

No.	対象領域	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	確定助成金額
279	複合	藤田 真大	神戸大学大学院海事科学研究科海事科学専攻	博士前期課程 2年	沿岸海域における海洋酸性化に対する pCO <sub>2</sub> の寄与と pCO <sub>2</sub> 変動要因の解明	1,120,000
280	複合	緒方 悠岐	福岡大学大学院理学研究科化学専攻	博士後期課程 2年	mRNA 非翻訳領域の RNA 編集による遺伝子発現制御機構の解明と技術応用	800,000
281	複合	高橋 奏太	北海道大学大学院生命科学院ソフトマター専攻	博士後期課程 1年	変形菌の子実体形成時における「賢い」孢子散布戦略を解き明かす:受動的拡散の基礎研究	900,000
282	複合	Wutisirirattanak hai Tassapak	創価大学大学院理工学研究科環境共生工学専攻	博士後期課程 1年	高含水率有機廃棄物の水熱炭化による燃料及び肥料利用を目的とした持続可能な資源利用の革新的手法の確立	850,000
283	複合	三津川 到	京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻	博士後期課程 2年	マントル内有機物合成反応における鉱物の触媒作用検討:ダイヤモンドアンビルセルを用いた合成実験	1,230,000
284	複合	佐藤 一輝	弘前大学大学院地域共創科学研究科地域リノベーション専攻	修士課程 2年	塩類マッピングによるタフオニの形成プロセスの解明	750,000
285	複合	岡 智将	筑波大学大学院理工情報生命学術院数理物質科学研究群	博士後期課程 3年	ストレス応答機構の制御に向けた Heme-regulated inhibitor 活性制御機構の解明	400,000
286	複合	劉 雨杉	北海道大学大学院保健科学院保健科学専攻	博士後期課程 1年	脳出血後の間葉系幹細胞移植とトレッドミル運動の併用療法の治療効果の検証および責任因子の網羅的探索	900,000
287	複合	藤見 唯衣	富山大学大学院理工学専攻	修士課程 2年	浮遊性有孔虫殻の個別個体洗浄システムの開発と黒潮大蛇行の発生頻度の解析への応用	780,000
288	複合	伊藤 実央	埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科	博士後期課程 2年	脳卒中片麻痺者の随意運動機能回復の基盤となる末梢神経筋機能の基盤解明	900,000
289	複合	前原 ななみ	日本女子大学大学院理学研究科物質・生物機能科学専攻	博士前期課程 2年	疾患のサインを捉え、進行度を見積もる高分子MRIプローブの開発	850,000
290	複合	李 敏	千葉大学大学院融合理工学府創成工学専攻	博士後期課程 3年	中国南京市余村における歴史遺構・潘氏祠堂の文化的価値の再認識に基づく持続的地域活性化	900,000
291	複合	林 昭安	立命館大学大学院スポーツ健康科学研究科	博士後期課程 2年	アスリートの健康増進に資する「低酸素コンディショニング法」の開発:鉄代謝および造血作用に着目して	850,000
292	複合	斉藤 陸	埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科	博士後期課程 1年	前十字靭帯損傷後の再建靭帯及び自己治癒靭帯のリモデリングプロセスの解明	850,000
293	複合	熊谷 竜徳	埼玉県立大学大学院リハビリテーション学専修	修士課程 2年	自己治癒した膝前十字靭帯における機械感受性の解明~機械感受性イオンチャンネルに着目して~	900,000
294	複合	後藤 大堯	明治大学大学院先端数理科学研究科現象数理学専攻	博士後期課程 1年	世界はいつ、なぜ二極化するのか? -統計物理学および現象数理学の視点から-	900,000
295	複合	山崎 友莉	総合研究大学院大学先端学術専攻極域科学コース	一貫制博士課程 2年	東南極トッテン氷河沖の海底堆積物を用いた近過去の南極氷床融解史の復元	750,000
296	複合	丸山 大喜	創価大学大学院理工学研究科環境共生工学専攻	博士後期課程 1年	導電性担体の表面化学修飾によるメタン発酵微生物の選択的凝集と処理性能評価	807,126
297	複合	MONCHINSKI COURTENEY SUMMER	東京工業大学大学院地球生命研究所理学院地球惑星科学系	博士後期課程 1年	火星衛星の起源:氷天体衝突説の検討	900,000
298	複合	平峰 玲緒奈	国立歴史民俗博物館	プロジェクト研究員	堆積物中の漂着軽石に基づく過去の海域火山噴火イベント解明の試み:南西諸島の漂着軽石濃集層を用いて	620,000
						258,665,093

別表（２）２０２４年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（実践研究）

（単位：円）

No	助成者名	対象領域	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	確定助成金額
1	山中 史江	学芸員・司書等	筑波大学山岳科学センター 菅平高原実験所	技術専門職員	一般市民との協働による標本庫 APG 体系移行と教材用菌類標本整備及び青少年の参加促進に向けた手法開発	320,000
2	大槻 毅	教員・NPO職員等	流通経済大学スポーツ健康科学部	教授	高齢者の健康増進と防災学習による安全・安心なまちづくり：運動×防災教室による無関心層の行動変容	290,000
3	早川 詩音	教員・NPO職員等	(NPO)ガリレオ工房	理事	オンライン科学実験教室の事業化～貧困家庭など、科学館に行く機会の少ない子どもにも門戸を開く～	270,000
4	瀬戸 大暉	学芸員・司書等	山形県立博物館学芸課	学芸員	山形県最上川流域から産する地学資料を用いたVR教材開発-小学生から学ぶ自然史-	314,370
5	樋田 有一郎	教員・NPO職員等	日本女子大学児童学科	学術研究員	地方郡部の高校生と都市の大学生の協働学習によって豊かで持続可能な高校教育と地域をつくる	340,000
6	和田 多香子	教員・NPO職員等	筑波大学附属久里浜特別支援学校小学部	教諭	知的障害を伴う自閉症児が示す行動問題への介入-教員と保護者の協働による実践モデルの開発-	360,000
7	小島 友佳	教員・NPO職員等	(NPO)クリーンオーシャンアンサンブル	理事	小豆島を舞台とした海洋ごみ問題解決への取り組み：クリーンオーシャンアンサンブル	360,000
8	坂井 華海	教員・NPO職員等	熊本大学大学院自然科学教育工学専攻	博士後期課程3年	多様なステークホルダーによる学際連携基盤の開発に関する研究	320,000
9	梅村 信哉	学芸員・司書等	福井市自然史博物館	学芸員	市民連携による外来昆虫の分布拡大調査と、外来種問題の普及啓発のための教材づくり	300,000
10	小山 悠太	教員・NPO職員等	浅野中学・高等学校	教諭	海洋の模擬生態系を用いた物質循環の定量化と環境変動が生物に与える影響の検証	320,000
						3,194,370

別表（3）2024年度海外発表促進助成助成対象者一覧表

（単位：円）

No.	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	集会名称	発表題目	確定額
1	甲田 優太	筑波大学数理物質系物質工学科	助教	The 12th World Biomaterials Congress (WBC2024)	Design of Poly(cysteine)-Based Polymer Self-Assembling Drugs for the Chemotherapy of Nonalcoholic Steatohepatitis	208,000
2	森田 航	国立科学博物館	研究員	EURO EVO DEVO 2024	Genetic regulation of shape variation in mammalian four tooth classes: implications for human evolution	333,000
3	山本 哲	茨城県立医療大学	助教	Federation of European Neuroscience Societies (FENS) Forum 2024	Changes in amplitude of task evoked hemodynamic response during gripping movements; fNIRS and fMRI simultaneous measurements	315,000
4	中川 沙弥	東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカル情報生命専攻	博士後期課程3年	American Association for Cancer Research (AACR) Annual Meeting 2024	The Wnt/ $\beta$ -catenin signaling pathway regulates cellular metabolism through the suppression of HAL and ARG1 in liver cancer cells	324,000
5	辻 敬典	京都大学大学院生命科学研究科統合生命科学専攻	助教	Second European Congress on Photosynthesis Research (EPS2)	Regulation of target of rapamycin (TOR) kinase by nitrogen availability in the diatom <i>Phaeodactylum tricornutum</i>	274,000
6	岡本 葵	国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科保健医療学専攻	博士課程1年	ASM Microbe 2024	Analysis of <i>Helicobacter pylori</i> Lpp20 of OMVs released from clinical isolates	266,000
7	太田 和彦	南山大学総合政策学部総合政策学科	准教授	East-West Philosophers' Conference 2024	Insights from the Asia Pacific Agricultural and Food Ethics Conferences: Addressing Turmoil and Building Resilience	210,000
8	吉本 剛瑠	神戸大学大学院理学研究科惑星学専攻地球学教育研究分野	博士課程後期課程1年	IODP Exp. 398 Postcruise Meeting	Consolidation characteristics of offshore sediments in the Christiana, Santorini, and Kolumbo volcanic field, Greece (IODP Expedition 398)	132,000
9	濃野 歩	東京大学	博士課程2年	International Electric Propulsion Conference	Experimental investigation of Ion backflow of the microwave ion thruster by Retarding Potential Analyzers	316,000
10	高橋 大輔	埼玉大学	助教	8th International Conference on Plant Cell Wall Biology	Xyloglucan is associated with basal freezing tolerance and growth plasticity	288,000
11	斎藤 梨絵	埼玉大学理工学研究科	研究員	26th World Congress International Union of Forest Research Organizations (26th World Congress IUFRO)	Influences of Rooting Activity by Wild Boar on Cesium 137 soil profile after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident	354,000
12	照井 敬生	同志社大学創造経済研究センター	研究員	International Conference on Arts and Cultural Management (AIMAC)	State-business-civic partnerships in children's film production and film policy in post-war Britain	303,879
13	児玉 知理	京都大学理学研究科生物科学専攻	博士後期課程3年	Society for the Study of Amphibians and Reptiles 2024 Meeting	Cold kiss still hot? Limited temperature effect on venom expenditure in predatory strikes of Japanese pit viper ( <i>Gloydius blomhoffii</i> )	238,000
14	多田 誠之郎	福井県立大学恐竜学研究所	学振PD	Turtle Evolution Symposium 2024	Evolution of the rostral vasculature in turtles	254,000
15	浮田 駿	電気通信大学大学院情報理工学研究科情報・ネットワーク工学専攻	博士後期課程2年	21st International Conference on Metal Organic Vapor Phase Epitaxy (ICMOVPE-XXI)	Growth and Characterization of n-type $\beta$ -Ga <sub>2</sub> O <sub>3</sub> Films on Sapphire Substrates by APMOVPE	311,000
16	塩本 昌平	東京理科大学先進工学部マテリアル創成工学科	嘱託助教	The 12th World Biomaterials Congress (WBC)	Characterization on hydration properties of a glycopolymer by thermal analysis	145,000
17	GUO ZIXUAN	筑波大学大学院理工情報生命学術院生命地球科学研究群地球科学学位プログラム	博士後期課程3年	secondary adaptations of tetrapods to life in water 2024	Auditory Adaptations and Evolutionary Diversification in the Delphinida	261,000

別表（3）2024年度海外発表促進助成助成対象者一覧表

（単位：円）

No.	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	集会名称	発表題目	確定額
18	波々伯部 夏美	海洋研究開発機構地球環境部門海洋生物環境影響研究センター	学振PD	2nd UN Ocean Decade Regional Conference, 11th WESTPAC International Marine Science Conference	Molecular Phylogeny of the Monostilifera with insights into the evolution of commensalism in Nemertea	141,000
19	自見 直人	名古屋大学大学院理学研究科附属臨海実験所	講師	2nd UN Ocean Decade Regional Conference, 11th WESTPAC International Marine Science Conference	Garden of Polychaetes: New ecosystem engineer in rocky ocean	141,000
20	山田 麻未	名古屋市立大学大学院理学研究科	研究員	American Physiological Summit 2024	Muscle p62 stimulates the expression of antioxidant proteins alleviating cancer cachexia.	227,000
21	永井 大翔	琉球大学大学院理工学研究科海洋環境学専攻	博士後期課程1年	The Crustacean Society (TCS) summer meeting 2024	Molecular phylogeny of the freshwater shrimp genus Atyoida (Caridea: Atyidae) in the tropical islands of Japan	101,000
22	丸山 紗季	学校法人行吉学園神戸女子大学	博士研究員	Nutrition 2024	Laminaran Intake Attenuates Hypertension in 2-Kidney, 1-Clip Renovascular Hypertensive Rats via Glucagon-Like Peptide-1	297,000
23	木場 安莉沙	名古屋文理大学	助教	Sociolinguistics Symposium 25	Forming Others: comparing HIV and COVID-19 “super spreader” discourses	226,000
24	中村 直人	京都大学生存圏研究所 森林圏遺伝子統御分野	博士課程後期3年	Ecological and Evolutionary Consequences of Plant-Fungal Invasion Symposium	The relationship between population density of invasive plants and soil microbial communities	274,000
25	川口 海周	東京大学物性研究所	特任研究員	Ultrafast Surface Dynamics 13	Time-, spin- and angle-resolved photoemission spectroscopy of spin-polarized surface states with a 10.7-eV laser at 1-MHz repetition rate	320,000
26	李 優大	東海大学国際学部	特任講師	The 12th East Asian Conference on Slavic Eurasian Studies	Rethinking the Transnational History of Relations Between the Soviet Southern Periphery and Iran in 1920s and early 1930s	67,000
27	浜中 祐弥	東京大学	博士課程2年	12th international mycological congress (IMC12)	Identification of novel large mobile elements Starships by comparative analysis of chromosome-level genomes in <i>Aspergillus oryzae</i> industrial strains	351,000
28	執行 宣彦	森林研究・整備機構森林総合研究所地環境研究領域養分動態研究室	研究員	The 12th International Mycological Congress	HOW FUNGAL COMMUNITIES EXPLAIN VARIATIONS IN MIXED LEAF LITTER DECOMPOSITION	347,000
29	Billah A H M Areef	山形大学大学院理工学研究科電子情報工学専攻	博士後期課程3年	29th PhotoIUPAC Symposium on Photochemistry	Visible-light-driven Photocatalytic Oxygen Production from Water by Using BaTiO <sub>3</sub> based Ferroelectric Photocatalyst	269,000
30	津留 崎陽大	大阪公立大学大学院理学研究科化学専攻	准教授	The 14th International Conference on Heteroatom Chemistry (ICHAC-14)	Synthesis and Properties of Fused Phosphindolizine Derivatives	189,000
31	LEE KANG	東京学芸大学自然科学系文化財科学分野	専任講師	Scientific Methods in Cultural Heritage Research (Gordon Research Conference)	Exploring the Deterioration of Japanese Hanging Scrolls Focusing on the Painting and Lining Papers	213,000
32	八尋 逸清	九州大学大学院農学研究院海洋生物学研究室	学術研究員	The 10th International Symposium on Fish Endocrinology	Evaluation of the consequences of the SDF1/CXCR4 signaling pathway on gonadal sterility in Japanese anchovy.	329,000
33	隈下 敦貴	兵庫県立大学	博士後期課程2年	International conference of Quantum Fluids and Solids 2024	New Heat-capacity Measurements on the Commensurate -- Incommensurate Quantum Phase Transition in Submonolayer 3He on ZYX Graphite	254,000
34	石田 開	湘南工科大学工学部人間環境学科	准教授	2024 International Symposium on ElectroMagnetic Compatibility in Europe	Measurement System for Electromagnetic Environment in Medicine using SDR with Machine Learning	346,000

別表（3）2024年度海外発表促進助成助成対象者一覧表

（単位：円）

No.	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	集会名称	発表題目	確定額
35	奈須田祐大	群馬工業高等専門学校一般教科（自然科学）	助教	The 33rd/35th International Colloquium on Group Theoretical Methods in Physics	Bessel Functions of Purely Imaginary Order and an Exactly Solvable Quantum-mechanical Potential	254,000
36	矢崎裕規	農業・食品産業技術総合研究機構高度分析研究センターゲノム情報大規模解析ユニット	任期付き研究員	SMBE 2024	Dinotoms possess two evolutionary distinct autophagy-related ubiquitin-like conjugation systems	329,000
37	楠本多聞	量子科学技術研究開発機構	主任研究員	4th international conference on ionizing processes 2024	A recent attempt of water radiolysis experiments towards the elucidation of the mechanism of FLASH radiotherapy	330,000
38	福田一葉	東京農工大学大学院地域環境科学研究科地域創成科学専攻	博士後期課程1年	12th International Conference on Monitoring and Management of Visitors in Recreational and Protected Areas	Assessing the Locations of Japanese National Park Visitor Centers to Support Use and Information Access	280,000
39	加藤遼	徳島大学ポストLEDフォトンクス研究所	特任助教	ACS Fall meeting2024	Autofluorescence-Free Chemical Imaging of Bacterial Biofilms using Mid-Infrared Photothermal Microscopy	243,000
40	守谷（森棟）せいらい	中部大学工学部応用化学科	講師	21st European Conference on Composite Materials (ECCM21)	STRUCTURE AND PROPERTIES OF GRAPHENE-BASED POLYAMIDE66 NANOCOMPOSITES	334,000
41	脇坂聖憲	公立千歳科学技術大学	准教授	3rd Asian Conference on Molecular Magnetism (ACMM2024)	Quantum magnetism in the doped metal-organic frameworks and in the molecular-chain	100,000
42	塚田学	千葉大学大学院工学研究院	助教	International Congress on Pure & Applied Chemistry (ICPAC) Mongolia 2024	Development of metal-like lustrous films using oligo(3-alkoxyselenophene)	227,000
43	楊妍	東北大学	特任助教	The 7th AFC Organizing Committee	An Exploration of Impressions and Significance of Travel to Japan during the Sino-Japanese War -Focusing on "Travel Magazine" (1927-1937)?	26,372
44	池田秀斗	早稲田大学先進理工学研究科生命医科学専攻常田研究室	博士後期課程1年	19th International Symposium on Microbial Ecology	Growth heterogeneity of individual cell causes cultivation instability of ammonia-oxidizing bacteria.	252,000
45	萩原真	新潟県立大学人間生活学部健康栄養学科	講師	26th IUBMB meeting, 17th FAOBMB	HIGH GLUCOSE INHIBITS ENDOCYTOSIS OF LDL CHOLESTEROL. LPS IN BROWN RICE ACTIVATES PHAGOCYTOSIS. (発表2題)	262,000
46	蜜澤岳	石川県立大学大学院生物資源環境学研究科自然人間共生科学専攻	博士後期課程2年	The 17th International Coastal Symposium	Investigation of Longshore Drift Sediment Movement from the Mouth of the Tedoru River to Chirihama Beach Using the IRSL Method, Japan	193,000
47	工藤さくら	国立民族学博物館	特任助教／人間文化研究機構人文知コミュニケーション一併任	The International Convention of Asia Scholars (ICAS)13	"Edible Nettle Foodscape: A Case Study of Nepal"	177,000
48	澤井舜	京都橋大学大学院健康科学研究科健康科学専攻中野研究室	博士後期課程2年	World Physiotherapy Asia Western Pacific Region Congress in 2024	The effects of internal and external focus on standing postural control differ between younger and older adults	130,000
49	神野智世	北海道大学大学院理学研究院生物化学部門	博士研究員	The 11th International Plasmodesmata Meeting (PD2024)	Abcisic acid signaling regulates plasmodesmata density for plant cell-to-cell communication in the moss Physcomitrium patens	214,000

別表（3）2024年度海外発表促進助成助成対象者一覧表

（単位：円）

No.	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	集会名称	発表題目	確定額
50	水越 かのん	筑波大学大学院理工情報生命学術院生命地球科学研究群農学学位プログラム	博士後期課程2年	8th Frugivores and Seed Dispersal Symposium	Adhesive seed dispersal by seabirds begins from their nest materials	301,000
51	高田 春風	徳島大学大学院医歯薬学研究部（薬学域）薬物動態制御学分野	特任助教	Controlled Release Society 2024 Annual Meeting and Exposition	Effect of anti-PEG IgM on the intramuscular vaccination and pharmacokinetics of mRNA/LNP	250,000
52	勝浦 柊	名古屋大学大学院生命農学研究科森林・環境資源科学専攻	博士後期課程3年	60th Annual Meeting of the Association for Tropical Biology and Conservation	Water uptake depth patterns among trees across three major forest types in Cambodia	252,000
53	深草 彩子	琉球大学理工学研究科海洋自然科学専攻琉球島嶼生物地理学研究室	研究生	10th World Congress of Herpetology	Genetic structure of the parthenogenetic mourning gecko <i>Lepidodactylus lugubris</i> (Dumeril & Bibron, 1836) in the Daito Islands of Japan based on the mitochondrial DNA and SNPs data.	144,000
54	大月 興春	東邦大学薬学部生薬学教室	助教	2024 International Congress on Natural Products Research (ICNPR2024)	Daphnane diterpenoids from the fruits of <i>Daphne pseudomezereum</i>	256,000
55	金 翔宇	帯広畜産大学	特任研究員	7th Fatty Pig & 12th Mediterranean Pig Meeting	Study on the seasonal microbiome changes related to metabolism in <i>Mangalica</i>	180,033
56	山本 薫	横須賀市自然・人文博物館	学芸員	XX International Botanical Congress	Hybridization of mountain-growing <i>Hydrangea serrata</i> and island-growing <i>Hydrangea macrophylla</i> in peninsular regions	279,000
57	久保田 恒喜	山梨大学大学院総合研究部工学域基礎科学	研究助教	Pacific Rim Meeting on electrochemical and solid state science 2024 (PRiME 2024)	Study on the Production Mechanism of Fluorescent Species and Its Application to White LED of NH <sub>4</sub> -Form Y-Type Zeolite	161,000
58	山本 耕介	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医薬品合成化学分野	助教	PRiME 2024 (Pacific Rim Meeting on Electrochemical and Solid State Science)	Transition-Metal-Catalyst-Free Electroreductive Hydroarylation of Alkenes with Aryl Halides	247,000
59	浅田 直規	筑波大学人文社会科学部国際公共政策専攻	博士後期課程6年	2024 AAA(American Anthropological Association) Annual Meeting	Thinking about Participation: How Do Romanian Orphans Participate into "Family"?	183,650
60	畑 有紀	新潟大学日本酒学センター	特任助教	東アジア日本研究者協議会（East Asian Consortium of Japanese Studies）第8回国際学術大会	フィンランドでの異分野協働による日本学教育の実践	102,000
61	清水 洲平	北海道大学理学院自然史科学専攻地球惑星システム科学講座進化古生物学研究室	博士後期課程3年	The Society of Vertebrate Paleontology 84th annual meeting	Insights into the diversification dynamics of Mesozoic Dinosaurs	237,000
62	竹内 悠介	京都大学 医生物学研究所 統合生体プロセス分野	特定研究員	Cytokines 2024 & KAI 2024(12th Annual Meeting of the International Cytokine and Interferon Society jointly with Korean Association of Immunologists International Meeting 2024)	A Three-Stage Differentiation Pathway for Highly Arthritogenic CD103 <sup>-</sup> CD200 <sup>+</sup> Th17 cells	85,000
63	堀本 高矩	北海道立総合研究機構稚内水産試験場調査研究部	主査	the 25th Biennial Conference on the Biology of Marine Mammals (SMM2024)	Utilizing infrared cameras for at-sea distribution survey of northern fur seals	266,000

別表（3）2024年度海外発表促進助成助成対象者一覧表

（単位：円）

No.	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	集会名称	発表題目	確定額
64	鈴木 佑 弥	徳島県立博物館	主任学芸員	The 8th Asian Society of Arachnology Conference Wuhan	Taxonomy and natural history of the ray spiders (Araneae: Theridiosomatidae) in Japan	105,284
65	Acharya Ashis	島根大学大学院総合理工学部地球科学科	博士課程2年	4th European Regional Conference of IAEG	Geohydrological monitoring of slope using advanced distributed fibre-optic sensing: from laboratory study to field applications	296,000
66	山崎 寛 之	筑波大学	研究員	Society for Neuroscience 2024	Understanding the role of cell cycle checkpoint activation in sleep homeostasis	300,284
67	中田 里 奈穂	同志社大学脳科学研究科発達加齢脳専攻病態脳科学分野チャネル病態生理部門(御園生研究室)	5年一貫制博士課程5年	Cell Bio 2024 (ASCB 2024 Annual Meeting)	Phosphorylation: Effects on tau-microtubule binding and mechanisms of tau axonal transport	302,000
68	北畠 京 祐	千葉大学教育学部	日本学術振興会特別研究員PD	The 5th Asian Marine Biology Symposium	Sedimentary DNA reveals the presence of the invasive moon snail <i>Laguncula pulchella</i>	123,000
69	西 間 庭 恵子	筑波大学大学院生命環境科学研究科生物科学専攻(連携大学院・国立科学博物館)	博士後期課程3年	The 25th Biennial Conference on the Biology of Marine Mammals	Comparative anatomical study on the morphology of the facial nerve in Cetartiodactyla, among the Bovidae, Hippopotamidae, and Delphinoidae	207,000
70	土井 冬 樹	天理大学国際学部国際文化学科	講師	Association of Social Anthropologists of Aotearoa/New Zealand 2024 Conference	Protecting Traditional Culture in Japan and in Aotearoa	207,000
71	大枝 亮	筑波大学理工情報生命学術院生命地球科学研究群生物学学位プログラム(連携大学院：国立科学博物館)	博士後期課程2年	25th Biennial Conference on the Biology of Marine Mammals	Verification of elution of POPs adsorbed on marine plastic debris to the stomach juice in the Zhiphidae.	198,000
72	佐々木 啓	和歌山大学観光学部観光学科	助教	2024 Travel and Tourism Research Association Asia Pacific Annual Chapter Conference	Exploring Japanese Attitudes and Behaviors about National Parks: Toward Sustainable National Park Tourism	148,000
73	金 東昱	京都大学大学院工学研究科物質エネルギー化学専攻	特定研究員	ACS Spring 2025	Enhancing the Ion Conductivity of Carboxylate-based Single-Ion Conducting Polymers through Complexation with Ionic Compounds for Lithium-Ion Batteries	326,000
74	飯島 孝 良	花園大学国際禅学研究所	専任講師(副所長)	Association for Asian Studies 2025 annual conference	New regards on Japanese Rinzaï Zen Buddhism	273,000
75	落合 佳 樹	沖縄科学技術大学院大学	一貫制博士課程6年	The Biophysical Society Annual Meeting 2025 (BPS2025)	SUPREM: AN ENGINEERED NON-SITE-SPECIFIC M6A RNA METHYLTRANSFERASE WITH HIGHLY IMPROVED EFFICIENCY	197,000
76	榎本 沙 彩	埼玉県総合リハビリテーションセンター	理学療法技師	Orthopaedic research society 2025 annual meeting	A Novel Prolonged Progressive Cartilage Degeneration Model; To Reveal The Onset Mechanism Of Primary Knee Osteoarthritis	212,523
77	岩田 由 香	北海道大学大学院保健科学研究院創成看護学分野	助教	15th International Nursing Conference & 28th East Asian Forum of Nursing Scholars	Factors contributing to life-change adaptation in family caregivers of community-dwelling individuals with acquired brain injury	126,000
78	大坂 雄 一郎	東邦大学大学院理学研究科環境科学専攻環境分析化学研究室	博士後期課程2年	Pittsburgh Conference on Analytical Chemistry and Applied Spectroscopy	Changes in the concentration of polycyclic aromatic hydrocarbons in fecal pellets of Annelida species inhabiting tidal flats in Tokyo Bay, Japan	272,000
						18,213,025

別表（４）２０２４年度笹川科学研究奨励賞受賞者一覧表

No	研究領域	助成者名	性別	国籍	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題
1	人文・社会	中原 豪志	男	日本	国立音楽大学大学院音楽研究科	博士後期課程 2年	アメリカ時代のセルゲイ・ラフマーニノフの音楽構想及び楽曲構成観——諸稿の比較研究を通して——
2	人文・社会	竹田 響	男	日本	京都大学大学院人間・環境学研究科共生文明学専攻文化人類学分野	博士後期課程 3年	東北アジアに拡がる在日朝鮮人を基点とした親族関係に関する文化人類学的研究
3	数物・工学	野沢 公暉	男	日本	筑波大学大学院数理工学物質科学研究群	博士後期課程 1年	高キャリア移動度材料の薄膜技術構築と超高速フレキシブル・トランジスタの創製
4	数物・工学	越智 一成	男	日本	高知大学大学院総合人間自然科学研究科応用自然科学専攻	博士後期課程 3年	超流動量子渦に閉じこめられた不純物粒子のポーラロンダイナミクス
5	化学	佐々木 海斗	男	日本	九州大学大学院工学府応用化学専攻	博士後期課程 1年	両親媒性ビタミン B12 触媒を利用した Z スキーム型光反応系の構築と低活性塩素化合物の変換
6	化学	川崎 みどり	女	日本	同志社女子大学大学院薬学研究科医療薬学専攻	博士課程 4年	キラル水酸化第四級アンモニウムによるラセミ体トロボ酸β-ラク톤の動的速度論的な不斉加水分解
7	生物	高橋 捷也	男	日本	横浜市立大学大学院生命医科学研究科生体膜ダイナミクス研究室	博士後期課程 3年	クライオ電子顕微鏡を用いた立体構造解析によるワニヘモグロビン特有のアロステリック制御の解明
8	生物	山崎 航輔	男	日本	東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカル情報生命専攻	修士課程 2年	標的分子分解における高時空間分解能マウスを使った病態メカニズムの解明
9	生物	庄司 森	女	日本	岩手大学大学院連合農学研究科地域環境創生学	博士後期課程 1年	雪による細根の冷却は積雪林の樹木開葉時期の決定に関与するか:冬芽の吸水性と細根の通水性に着目して
10	生物	砂川 勇太	男	日本	東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻	修士課程 2年	日本産ラン科植物の送粉様式の多様性と進化
11	複合	李 敏	女	中国	千葉大学大学院融合理工学府創成工学専攻	博士後期課程 3年	中国南京市余村における歴史遺構・潘氏祠堂の文化的価値の再認識に基づく持続的地域活性化
12	複合	後藤 大堯	男	日本	明治大学大学院先端数理科学研究科現象数理学専攻	博士後期課程 1年	世界はいつ、なぜ二極化するのか？ —統計物理学および現象数理学の視点から—
13	海洋関連研究	佐藤 大介	男	日本	東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所	博士課程 2年	環形動物ミドリシリスの特殊な繁殖様式における二次尾部の形成機構
14	海洋関連研究	松山 和樹	男	日本	名古屋大学大学院環境学研究科地球環境科学専攻	博士後期課程 1年	かんらん岩から紐解く海洋リソスフェアマンツルの進化過程
15	実践	山中 史江	女	日本	筑波大学山岳科学センター菅平高原実験所	技術専門職員	一般市民との協働による標本庫 APG 体系移行と教材用菌類標本整備及び青少年の参加促進に向けた手法開発
16	実践	小島 友佳	女	日本	(NPO)クリーンオーシャンアンサンブル	理事	小豆島を舞台とした海洋ごみ問題解決への取り組み：クリーンオーシャンアンサンブル

別表（5）2024年度 BOOK ENVOY PROJECT(中国) 図書寄贈実績表

No.	寄贈対象大学	第1回	第2回	第3回	合計
		2024年5月	2024年9月	2025年3月	
1	大連外国語大学	771		1,247	2,018
2	南京大学	306		968	1,274
3	黒龍江大学	120		88	208
4	中国医科大学	154		423	577
5	延辺大学	31			31
6	吉林大学	109		712	821
7	清華大学	130		174	304
8	寧波大学	57		121	178
9	広西師範大学	131		79	210
10	遼寧師範大学	236		449	685
11	大連医科大学	35		112	147
12	大連海事大学	70		33	103
13	大連理工大学			2,052	2,052
14	雲南大学	893		1,901	2,794
15	華東師範大学	56			56
16	山東大学	76		96	172
17	山東大学(威海)	110		55	165
18	北京大学	119		953	1,072
19	瀋陽師範大学	16			16
20	中国海洋大学	124		997	1,121
21	上海師範大学	690			690
22	中国伝媒大学	27		40	67
23	中南財經政法大学	4,711		671	5,382
24	浙江越秀外国語学院	5,179	11,888	21,014	38,081
25	井岡山大学	380			380
26	武漢大学	169			169
27	東北師範大学	1,933			1,933
28	上海外国語大学	632			632
29	華東理工大学	523			523
30	湖南大学	1,255			1,255
31	雲南民族大学	1,504			1,504
32	中国農業大学		77		77
33	西安外国語大学		1,378		1,378
34	暨南大学		2,128		2,128
35	東北財經大学		390		390
36	南京工業大学		210		210
37	海南大学		967		967
38	天津科技大学		649		649
39	西安翻譯学院		762		762
40	北京外国語大学		188		188
41	浙大寧波理工学院		1,514		1,514
	合計	20,547	20,151	32,185	72,883

別表(6) 2024年度サイエンスメンタープログラム研究一覧表

No.	氏名	学校名	学年	性別	研究テーマ	メンター氏名 (アシスタント)	所属先
1	濱野 慧	佼成学園高等学校	2年生	男	岐阜県高山市奥飛騨温泉郷、福地地域の石灰岩から産出する微化石	足立 奈津子	大阪公立大学
2	大坂 唯歩稀	青森県立三沢高等学校	3年生	男	閉鎖空間における物質循環	鈴木 祥弘	神奈川大学
	平野 友麻		3年生	男			
	福安 彩花		2年生	女			
3	岩波 晴之	東京学芸大学附属国際中等教育学校	6年生	男	第二世代バイオマスエタノールに適した酵母の探索	藤井 克彦	工学院大学
	齊藤 奏斗		6年生	男			
4	松柳 佳奈	BYU online high school	2年生	女	Neurofeedback for Anorexia — RelaxNeuron — Aimed in Dissolving the Root Neuronal Cause	吉田 貴寿	慶應義塾大学
5	付 聖宣	聖光学院高等学校	1年生	男	深層強化学習を用いたヒューマノイドロボットの二足歩行における人間らしさの探求	東郷 俊太	電気通信大学
6	浅利 優太	静岡県立三島北高等学校	2年生	男	湯と水の凍結逆転現象における強制対流と水の物理化学的特性の影響	藤田 貢崇	法政大学
	河辺 優輝		2年生	男			
	後藤 直樹		2年生	男			
7	三宅 明信	東京都立小石川中等教育学校	2年生	男	金樹の作成手法の改良	丸山 哲	元 TDK 株式会社
8	都築 啓太	東海高等学校	3年生	男	Biologically Plausible Backpropagation: Combining Feedback Alignment and Resilient Backpropagation	小島 大樹	東京大学
9	小松 和滉	長野県諏訪清陵高等学校	1年生	男	三次元再構築の技術を用いたオジギソウの開閉度定量化	野下 浩司	九州大学
10	福田 莉子	神奈川県立川和高等学校	2年生	女	ウマ介在活動がウマに与える影響	リングホーファー 萌奈美 (内海 早智)	帝京科学大学
11	下川 翠珠	広尾学園高等学校	3年生	女	外音取り込みモード中におけるノイズの緩和方法の検討	矢田部 浩平 (角田 清香)	東京農工大学
12	立濱 勇利	広島県立広島国泰寺高等学校	2年生	男	気象条件による水の蒸発量の変化	轡田 邦夫	東海大学
13	羽藤 慧	女子学院高等学校	3年生	女	摂食障害予防アプリに必要な機能の検討	山蔦 圭輔	神奈川大学
14	入田 采子	角川ドワンゴ学園 N 高等学校	2年生	女	白色腐朽菌 <i>Lentinula edodes</i> によるポリプロピレン生分解性の検討	毛利 嘉一 (石川 嵐土)	日本大学
15	呉 文慧	K. インターナショナルスクール東京	3年生	女	F1カーのリアウィングの迎角とDRS(Drag Reduction System)の効果の関係	北村 圭一 (安居 聡良、 佐藤 颯斗)	横浜国立大学
16	金村 亮佑	愛知県立時習館高等学校	2年生	男	ニホンウナギの底質選好性における野生個体と養殖個体の比較	松重 一輝	長崎大学
	萩田 知明		2年生	男			
17	高階 翔太郎	聖光学院高等学校	2年生	男	水ロケットの正確な計測手法の開発	田中 真	東海大学
18	深山 晴加	洗足学園中学校	3年生	女	焼き芋の甘さと硬さ	小川 宣子 (畠中 葵)	中部大学
19	上條 諒介	郁文館グローバル高等学校	2年生	男	ヘッドホンにおける立体音響技術の向上を図るには	矢田部 浩平 (新美 智也)	東京農工大学
20	新井 伶菜	NIST International School	1年生	女	二酸化炭素の回収と再利用における技術の比較と導入に向けた評価	藤田 貢崇	法政大学
21	松尾 紗花	徳島県立徳島城南高等学校	1年生	女	花たちのクロストーク	豊田 正嗣	埼玉大学
22	坂井 壮士	岩田高等学校	1年生	男	死滅回遊魚ギンガメアジの低温への耐性と越冬の可能性について	脇谷 量子郎	東京大学
23	内田 そら	鹿児島県立国分高等学校	1年生	女	バリウムの炎色光に関する研究	内野 隆司	神戸大学
	樽屋 歩実		1年生	女			
	萩原 早咲		1年生	女			
24	青柳 慧	神戸大学附属中等教育学校	5年生	男	スネアドラムにおける特有の雑音現象	矢田部 浩平 (新美 智也)	東京農工大学
32名		23校			24研究	メンター21名・アシスタント7名	

## 別表（7）役員名簿

（2025年3月31日現在）

役職	常勤・非常勤	氏名	就任年月日	担当職務	現職 (専門分野)
会長	非常勤	高橋 正征	2020年 6月30日	業務の議決 ・執行等	東京大学名誉教授 高知大学名誉教授 (生態学)
常務理事	常勤	石倉 康弘	2018年 6月15日	会長補佐 日常業務の執行等	(公財)日本科学協会常務理事 (公益法人業務)
同	同	佐々木 文君	2017年 6月28日	日常業務の執行等	(公財)日本科学協会常務理事 (公益法人業務)
理事	非常勤	川口 春馬	2012年 4月1日	業務の議決・執行等	慶應義塾大学名誉教授 (工学、応用化学、高分子合成)
同	同	木村 龍治	同	同	東京大学名誉教授 (気象、海洋、陸水学)
同	同	和崎 春日	同	同	中部大学名誉教授 京都精華大学アフリカ・アジア現代文化研究センター客員教授 (文化人類学)
同	同	渡邊 雄一郎	同	同	東京大学大学院総合文化研究科特任研究員 東京大学名誉教授 (生物学・分子生物学、農学・植物病理学)
同	同	石坂 丞二	2024年 6月11日	同	名古屋大学宇宙地球環境研究所特任教授 名古屋大学名誉教授 (生物海洋学)
同	同	須賀 利雄	同	同	東北大学大学院理学研究科教授 (海洋物理学)
同	同	原田 尚美	同	同	東京大学大気海洋研究所附属国際・地域連携研究センター教授 (生物地球化学)
監事	非常勤	菅井 明則	2016年 6月10日	業務執行等の監査	(公財)日本財団バラスポーツサポートセンター 常務理事
同	同	馬目 利昭	2020年 6月30日	同	馬目公認会計士事務所代表

## 別表（8）評議員名簿

（2025年3月31日現在）

役職	常勤・非常勤	氏名	就任年月日	担当職務	現職 (専門分野)
評議員	非常勤	門野 泉	2012年 4月1日	決算の承認等	清泉女子大学名誉教授 (公財)東京財団政策研究所理事長 (英国ルネッサンス演劇、比較演劇学)
同	同	西原 祥子	2016年 6月10日	同	創価大学糖鎖生命システム融合研究所所長・教授 (糖鎖生物学)
同	同	前田 晃	2017年 11月14日	同	(公財)日本海事科学振興財団会長
同	同	境 浩光	2020年 6月30日	同	(株)科学新聞社代表取締役
同	同	竹本 和彦	同	同	(一社)海外環境協力センター理事長 東京大学未来ビジョン研究センター特任教授
同	同	中村 和生	同	同	北里大学名誉教授 (生化学)
同	同	山崎 壮	同	同	実践女子大学生活科学部食生活科学科教授 (食品衛生学、食品学、天然物化学)
同	同	室伏 きみ子	2025年 6月30日	同	お茶の水女子大学名誉教授 ビューティ&ウェルネス専門職大学学長 (細胞生物学、生化学、科学教育)

2024年度事業報告書には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

前記のとおり相違ありません。

2025年 5月 8日

公益財団法人 日本科学協会

代表理事（会長） 高橋 正 征

2024年度事業報告書は、法令及び定款に従い、本会の状況を正しく示しているものと認めます。

理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

2025年 5月13日

公益財団法人 日本科学協会

監 事 菅 井 明 則 印

監 事 馬 目 利 昭 印

